

令和元年度

金沢市埋蔵文化財調査年報

令和2年4月
(2020年)

金 沢 市
(金沢市埋蔵文化財センター)

例　　言

1. 本書は、金沢市文化スポーツ局文化財保護課および金沢市埋蔵文化財センターが令和元年度に行った埋蔵文化財保護行政の概要、成果および結果を公表することを目的として刊行するものである。
2. 本書は、令和元年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、分布調査、および教育・普及・啓発活動に関するを中心編集したものである。
3. 本書に掲載した埋蔵文化財の遺構・遺物等の写真は、それぞれの担当者が撮影した。
4. 各遺跡の遺跡番号は石川県遺跡・文化財情報システム（平成25年度版）及び金沢市遺跡地図に準拠している。

目　　次

1. 埋蔵文化財発掘調査等事業	1
2. 埋蔵文化財分布調査事業	16
3. 教育・普及・啓発活動事業	30
4. 組織	43

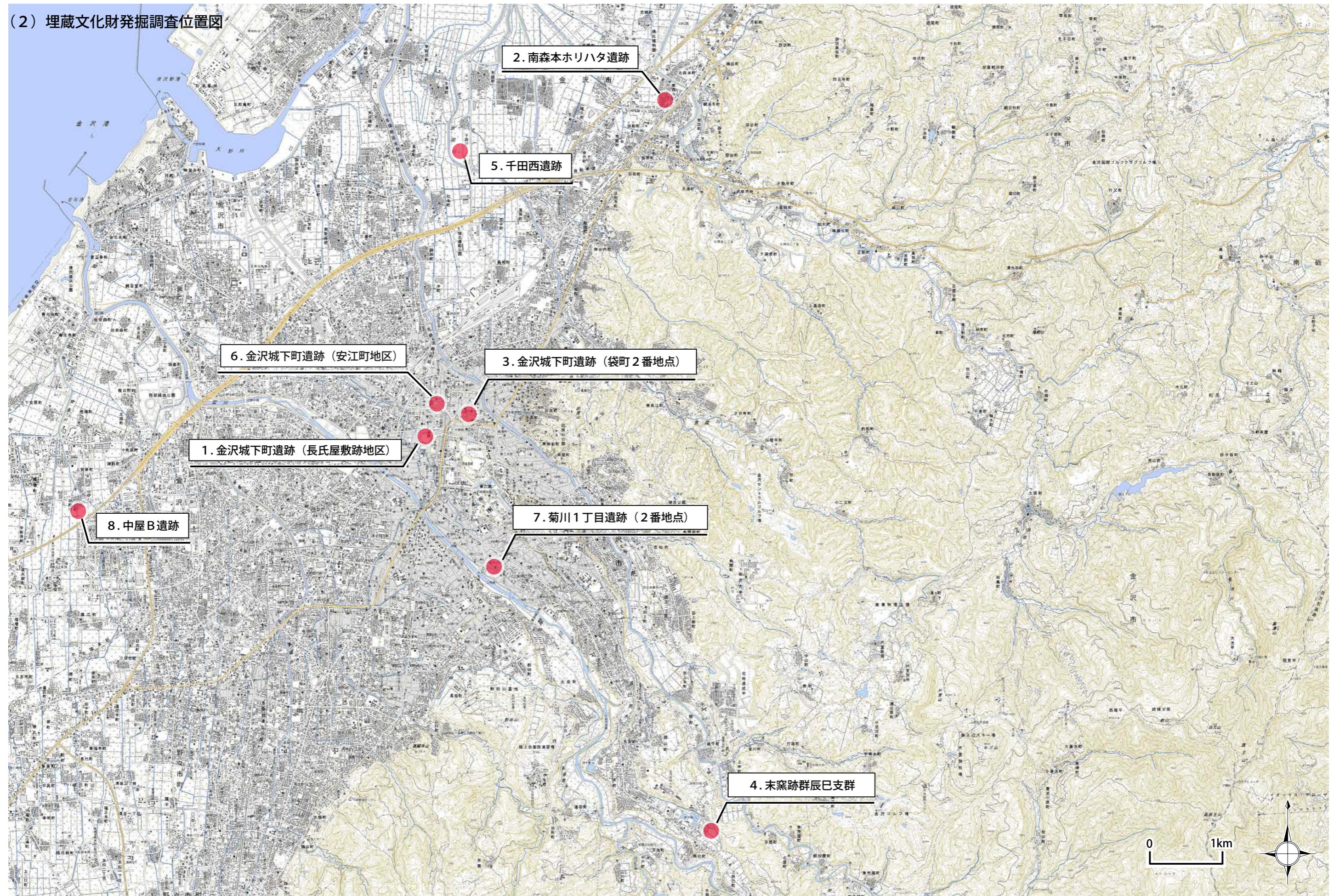
1. 埋蔵文化財発掘調査等事業

(1) 埋蔵文化財発掘調査等一覧

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費（千円）	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
緊急発掘調査										
金沢城下町遺跡（長氏屋敷跡地区）										
1	金沢市 玉川町地内	480m ²	小学校建設 (公 共)	20190805 ～ 20191130	沖積地	42,842	40 箱	江戸	井戸 土坑 石組	陶磁器 土師器皿 土製品 木製品 石製品 金属製品
南森本ホリハタ遺跡										
2	金沢市 南森本町地内	400m ²	宅地造成 (民 間)	20190904 ～ 20191030	沖積地	1,472	1 箱	奈良・平安 鎌倉・室町	ピット 土坑 溝	土器 須恵器 陶磁器
金沢城下町遺跡（袋町2番地点）										
3	金沢市 袋町地内	112m ²	ホテル建設 (民 間)	20191105 ～ 20191223	沖積地	4,893	13 箱	江戸	ピット 土坑 溝 石列	土器 陶磁器 木製品 属製品
末窯跡群辰巳支群										
4	金沢市 辰巳町地内	1,060m ²	学校グラウンド 整備 (民 間)	20191021 ～ 20191217	丘陵	7,184	8 箱	弥生・奈良 平安	ピット 造成土	弥生土器 石器 土師器 須恵器 窯体
千田西遺跡										
5	金沢市 千田町地内	640m ²	道路建設 (公 共)	20191013 ～ 20191213	沖積地	18,045 (農道復旧費 含まず)	24 箱	弥生後期～ 古墳前期・ 平安・鎌倉・ 室町	ピット 土坑 溝	弥生土器 須恵器 石製品
金沢城下町遺跡（安江町地区）										
6	金沢市 安江町地内	1,130m ²	市街地再開発 (受 託)	20180720 ～ 20190619	沖積地	65,174	240 箱	江戸	土坑 溝 柱穴 井戸	近世陶磁器 土器 石製品 金属製品 木製品
菊川1丁目遺跡（2番地点）										
7	金沢市 菊川1丁目地内	700m ² × 2面	小学校建設 (公 共)	20200212 ～ 継続中	河岸段丘	51,700	12 箱	江戸	屋敷地 道路 井戸	近世陶磁器 土師器 石製品 金属製品
中屋B遺跡										
8	金沢市 中屋町地内	3,500m ² (予定)	工業団地造成 (公 共)	20200225 ～ 継続中	沖積地	52,000	未定	縄文・古墳 古代	掘立柱建物 柱穴 土坑 溝	縄文土器 土師器 須恵器 石製品

※「出土遺物数」は容量 36ℓ のコンテナケースに換算した数量である。

(2) 埋蔵文化財発掘調査位置図



1. 金沢城下町遺跡（長氏屋敷跡地区）

（遺跡番号 県：129600）

所 在 地：金沢市玉川町地内

北緯 $36^{\circ} 34' 13''$

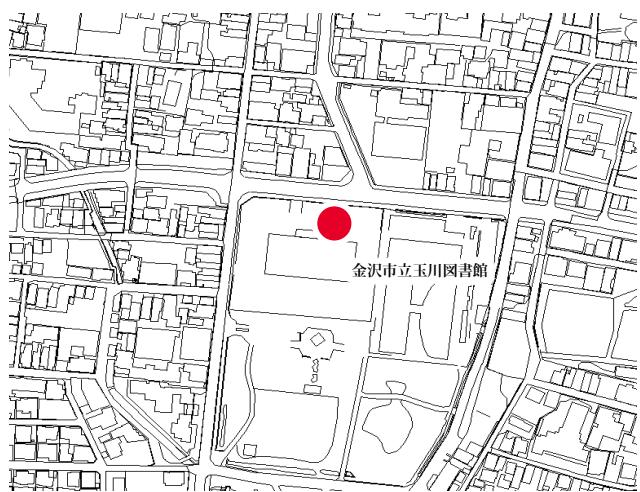
東経 $136^{\circ} 39' 3''$

調査面積：480m²

種 別：城下町

主な時代：江戸

担 当：谷口 明伸



■ 遺跡の概要

本遺跡は金沢市玉川町地内に所在する江戸時代の遺跡である。金沢市立中央小学校新築工事に先立ち令和元年度に記録保存を目的とした発掘調査を実施した。建設予定地は金沢市立玉川図書館に隣接する旧玉川こども図書館の敷地であり、その前身は大正2年に設置された日本専売公社金沢工場であって、さらにそれ以前には小学校、前田家金沢邸、金沢区会所、金沢藩庁などの変遷がある。藩政期においては敷地の大部分は加賀八家の一家である長家の上屋敷地であって遺跡名もそれに由来するが、今回の調査地は長家上屋敷地に隣接する武家地の一角にあたる。

発掘調査は新規建物建設計画地のうち遺構の残存する箇所 480m²を対象としている。調査区は東西に細長い長方形を呈し、東側を1区、西側を2区として1区→2区の順番で調査を行った。調査地点の基本層序は現地表（標高 13.5m 付近）から約 70cm 下までが駐車場舗装とその整地層、その下約 40cmまでが専売公社時代の整地層、その下 20cmが明治期の整地層となり、その下に藩政期の整地層が展開して複数の遺構面がある。明確な地山は確認されないが標高 12.0m 付近で遺物を全く含まない暗灰褐色粘質土の土壤に変化する。

発掘調査では 17 基の土坑、8 基の石組、6 条の石列、1 基の井戸跡などを確認し、容量 36 ℥ の遺物箱に換算して約 40 箱分の遺物が出土した。遺構と遺物は全て藩政期以降のもので、それ以前の遺構は確認されず、遺物も混入と思われる平安時代の須恵器数点が出土した以外は全て藩政期以降のものである。このうち井戸は直径 1.0m を測り、1.5m 前後の縦板を並べて井戸枠としている。石列は計 6 条を確認しているが藩政期のものとそれ以降のものが混在している。石組は大小 8 基を確認しているが、特に 2 区の下層から計 30 ~ 40cm 程度の円形石組が一定間隔で検出されており、建物礎石の根石の可能性がある。全体的に遺構密度はやや薄い傾向にある。

藩政期の城下町絵図では、前述のとおり調査区は長家上屋敷に隣接する武家地の一角にあたり、寛文7年（1667年）金沢図では東側が三輪七左衛門の、西側が佃源太左衛門の屋敷地にあたる。延宝金沢図（延宝年間、1673 ~ 1680）では西側が坂井五郎左衛門の屋敷地に変化しており、以降は三輪家と坂井家の屋敷地であったと考えられる。両家の敷地境が 2 区の中に位置するはずであるが、明確な遺構としては確認されていない。調査区のうち三輪家側には遺構が比較的集中しており、敷地前面に配置された建物のあった箇所に該当すると思われる。一方で佃家／坂井家側は遺構密度が希薄であり、敷地後背の庭などに該当する箇所であったと考えられる。



1区全景



2区全景



SE01



SK04



SK06



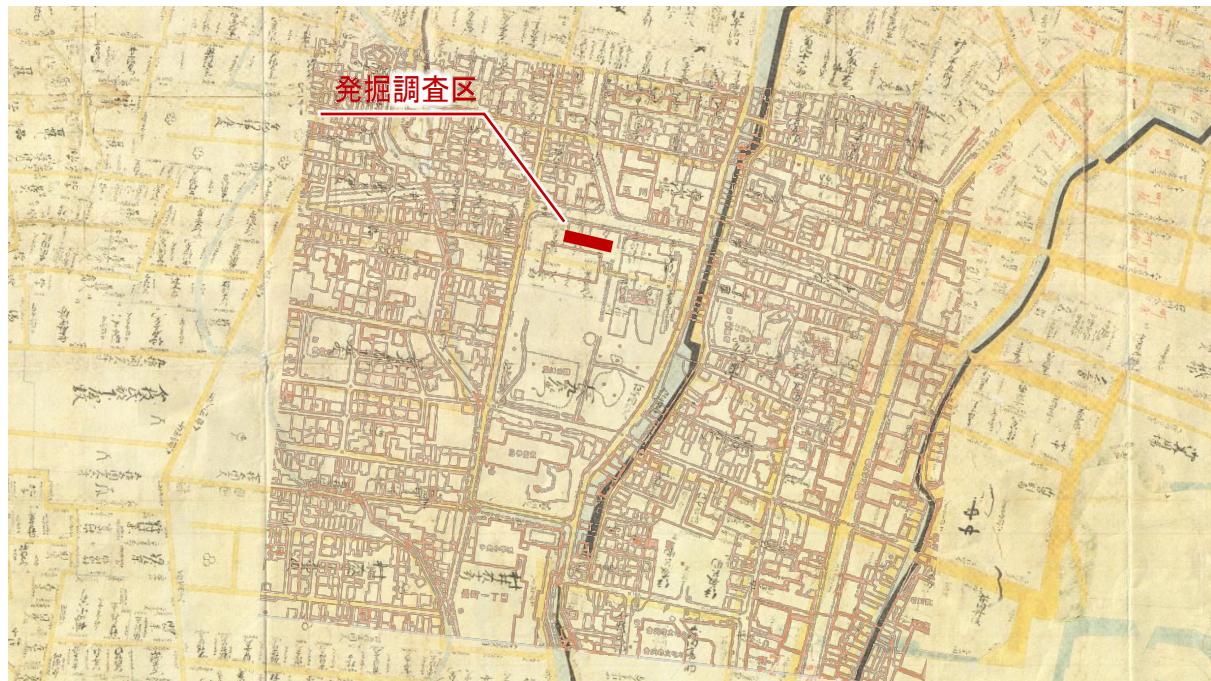
SK06出土遺物



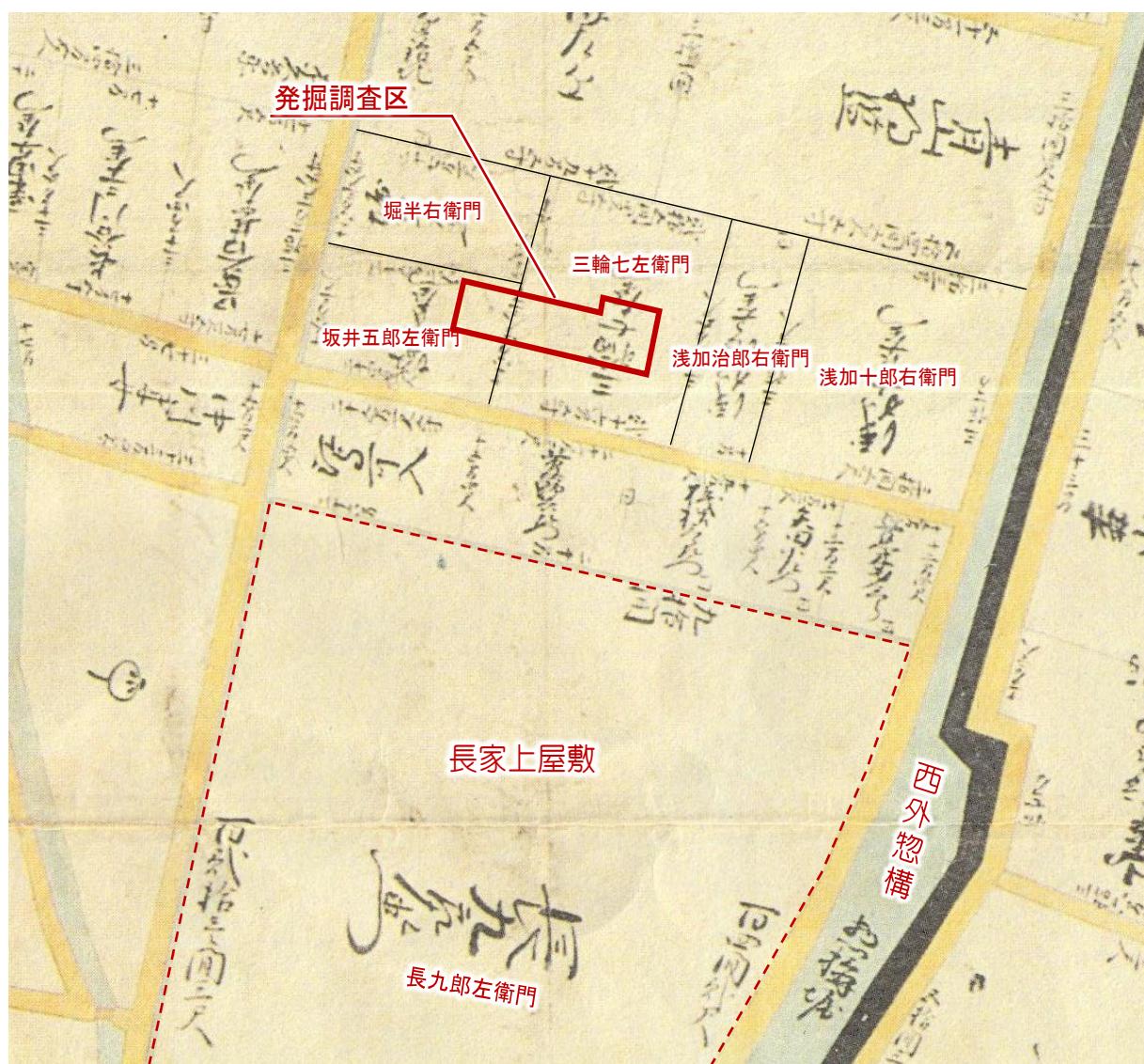
石列



石列 (基礎石か)



延宝金沢図（延宝年間、1673～1680）と現在の都市計画図との重ね合わせ



延宝金沢図の発掘調査区周辺

2. 南森本ホリハタ遺跡

(遺跡番号 県: 159700)

所 在 地: 金沢市南森本町地内

北緯 $36^{\circ} 37' 07''$

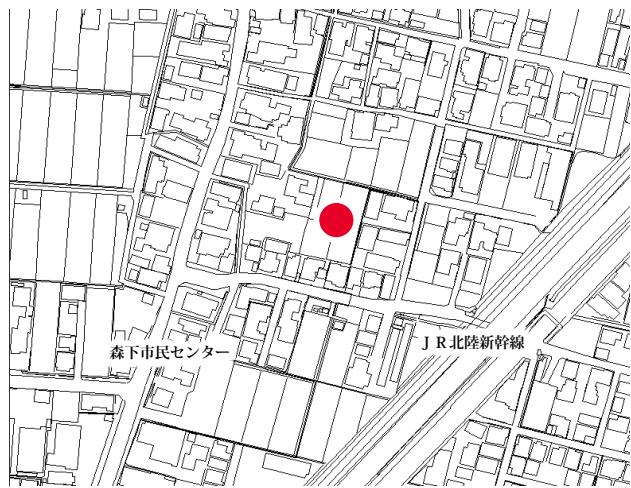
東経 $136^{\circ} 41' 43''$

調査面積: 400m²

種 別: 集落跡

主な時代: 奈良、平安、鎌倉、室町

担 当: 須貝 杏奈



■ 遺跡の概要

南森本ホリハタ遺跡は、平成 27 年に民間の宅地造成工事に先立つ試掘調査で発見された遺跡である。北側には森下川が北西方向に流れ、西側には旧北国街道が南北に延びている。また、東側の砺波丘陵との境付近では古代北陸道がみつかっており、本遺跡は古代以来の水陸交通の要衝に位置しているといえる。平成 27 年度に今回調査地の北側隣接地で発掘調査を実施しているが、その際には弥生終末期の溝や、古代の掘立柱建物跡、中世の土坑などが見つかっている。今回の調査では約 20 基の土坑と 9 条の溝、約 150 基の小穴・柱穴を検出した。遺物量は少なく、容量 36 ℥ の遺物箱に換算して 1 箱分の遺物が出土した。

調査区中央部分からは、東西 2 間 (約 4.8 m) × 南北 1 間 (約 2.4 m) の建物跡 (以下 SB01) が検出された。柱穴は長径が約 0.6 m ~ 1.5 m、短径が約 0.5 m ~ 1 m の大きさであり、8 世紀ごろの須恵器や土師器が見つかっている。柱根は確認できなかったが、土層断面から直径約 0.4 m の柱を立てていたことが判明した。柱底面からは白色粘土層が確認できたことから、沈下を防ぐための礎板を有していたと考えられる。また、1 つの掘方に 2 つの柱穴が確認できた遺構もあったことから、何度も建て替えが行われたことが考えられる。SB01 の南側にも約 2.4 m 間隔で並ぶ 3 基の柱穴 (SA01) が検出されたが、掘方の径が小さいことと、SB01 の並びからわずかにずれていることを考えると、SB01 とは別の建物跡だと考えられる。このほか、古代から中世までの遺物が出土する小穴が多数見つかっており、複数の掘立柱建物の存在を窺わせるが、明確な建物跡としての把握には至っていない。

調査区南部からは東西方向に伸びる大型の溝が 1 条見つかっている。幅約 3 m、深さ約 0.65 m の規模で、15 世紀ごろの陶器などが出土している。この溝より南側には広い落ち込みがあり、遺物の出土も少なく、遺構もほとんど見られなかったことから、集落の境目を区切る区画溝であったと考えられる。

今回の調査では、主に 8 世紀から 15 世紀までの遺物が出土する遺構が発見される結果となり、前回調査で確認された古代から中世までの集落の範囲がさらに南側へ延びることが判明した。



遺跡近景（北東から）



柱穴検出状況（南から）



建物跡検出状況（東から）
右白線枠：SB 01 左白線：SA 01



溝検出状況（南から）



柱穴検出状況（東から）



溝検出状況（東から）



土坑検出状況（北から）



区画溝検出状況（西から）

3. 金沢城下町遺跡（袋町2番地点）

（遺跡番号 新発見のため番号無し）

所 在 地：金沢市袋町地内

北緯 $36^{\circ} 34' 19''$

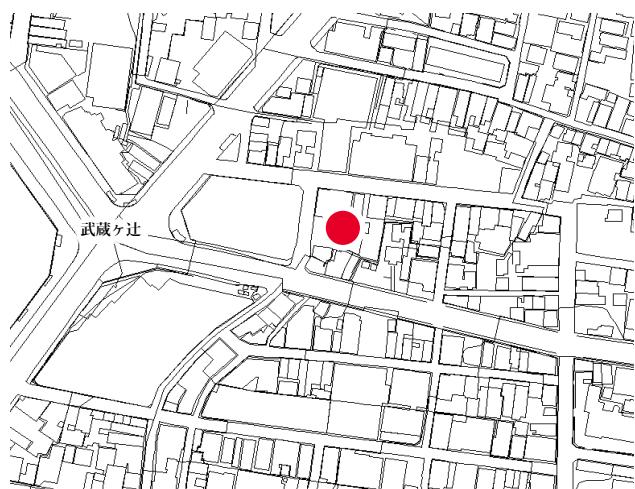
東経 $136^{\circ} 39' 26''$

調査面積：112m²

種 別：城下町

主な時代：江戸

担 当：須貝 杏奈



■ 遺跡の概要

金沢城下町遺跡（袋町2番地点）は、民間のホテル建設工事に先立つ試掘調査で発見された遺跡である。江戸時代においては、西内惣構のすぐ南側に位置し、町屋が立ち並ぶ商人地の一角であった。発掘調査では北側の調査区をA区、南側の調査区をB区とした。A区では計9基の土坑と2基の小穴を、B区では計11基の土坑と2基の石列を検出し、両調査区合わせて容量36ℓの遺物箱に換算して13箱の遺物が出土した。

A区は現地表（標高16.5m付近）から約1.2m下までが近代攪乱で遺構が残存しておらず、その直下の地山付近で遺構が検出された。土坑（略称：SK）のうちSK01は直径1.8m、深さ1.8mの大型の遺構で、多量の陶磁器が出土した。埋土には焼土や炭が多く含まれており、火災で焼失した不用品を廃棄したいわゆる「ゴミ穴」であったと推測される。SK12も直径2.2m、深さ1.3mの大規模土坑で、陶磁器や木製品などの遺物が大量に出土しているため、同様にゴミ穴であると考えられる。

B区は現地表から約0.2mまでが現代の整地面で、その下に0.7m前後の厚さで近代の攪乱があり、さらに下に約0.8mの厚さで江戸時代の遺構面が展開し、標高14.8m付近で地山となっていた。

B区上層から見つかった土坑のうち、SK01は直径3m、深さ0.55mの大きさで、多量の陶磁器や土器が出土した。A区のSK01と同じく埋土に焼土が多く含まれていたため、火災の後片付けをしたゴミ穴だと推測される。SK04は直径3m、深さ1.5mの大規模な遺構で、下層まで掘り込まれており、木製品が大量に出土している。また、調査区北東側からは、長さ2mほどの石列が見つかっている。B区下層からは、SK12やSK15などの土坑を検出した。SK12からは多量の木製品が出土し、SK15からは土器や陶磁器などが多く出土した。また、調査区西端からは長さ2.5mの石列が見つかっている。

江戸時代の城下町絵図である延宝金沢図（延宝年間、1673～1680）では、A区は通りに面する町屋の表側にあたり、B区は西内惣構と町屋の境目に当たる。当初は南側のB区で西内惣構の堀跡や土居跡が見つかることを想定していたが、これらの痕跡は発見されなかった。B区で検出された大小の土坑は、町屋裏手の空閑地に掘られたものとみられ、町屋における土地利用の状況を示す一例となつた。

遺物としては陶磁器類や灯明皿などの土器類、銭貨やキセルなどの金属製品が出土している。とりわけ木製品が多く出土しており、その種類は箸や桶、下駄、かんざし、漆器椀など多様である。今後の屋内整理の実施によって遺物の年代が確定し、それに伴って遺構の変遷が判明することで、当時の町人生活の実態を解明する一助となることが期待される。



石川県立図書館蔵『延宝金沢図』における調査地（推定）



A区近景（西から）



A区 SK12 完掘状況（北から）



B区 SK04 検出状況（南から）



B区 SA14 検出状況（南から）



B区上層近景（西から）



B区下層近景（東から）



B区 SK04 出土下駄（南から）



B区包含層出土漆器（東から）

4. 末窯跡群辰巳支群

(遺跡番号 県: 112800 市: 360)

所 在 地: 金沢市辰巳町地内

北緯 $36^{\circ} 30' 38''$

東経 $136^{\circ} 42' 16''$

調査面積: 1,060m²

種 別: 集落跡

主な時代: 弥生、奈良、平安

担 当: 向井 裕知



■ 遺跡の概要

末窯跡群辰巳支群は、金沢学院高等学校グラウンド建設を調査原因として、発掘調査を実施した。

末窯跡群は、金沢市街地の東南部に位置し、犀川と浅野川に挟まれた館山丘陵一帯に分布している。窯跡群は辰巳支群、末支群、浅川支群の3つの支群で構成され、今回調査を実施した辰巳支群は最も東側に所在する。周辺には、窯跡以外の古代遺跡は未発見であるが、縄文時代の集落遺跡や中世の寺跡、館跡、砦跡と推定されている遺跡が分布する他、国史跡の辰巳用水附土清水塩硝蔵跡や国名勝の末浄水場園地が所在している。

今回の発掘調査では、弥生時代から平安時代の土器や石器が見つかり、主な遺構としては、ピットや造成土などがある。

造成土は恐らく江戸時代以降の耕地面積増加を目的としたものと考えられ、造成土中から末窯跡群辰巳支群の窯で焼かれた土師器や須恵器が多数出土した。これは、窯跡本体もしくは灰原からもたらされたものと考えられる。

窯跡に由来すると考えられる出土品は、奈良時代から平安時代のものがあり、須恵器蓋・坏・碗・壺・甕、土師器碗・甕、窯体片などが出土した。詳細な年代は、今後の整理作業で明らかにしていきたいが、これまで言っていた須恵器生産が8世紀中頃～9世紀中頃、土師器生産が8世紀中頃～9世紀後半の操業期間の範疇に含まれることが予想される。ただし、須恵器の碗形態のものに関しては、既往の末窯跡群の調査では出土事例が無いため、操業期間の再検討を迫る資料となる可能性があり、今後の整理作業で明らかにする必要がある。

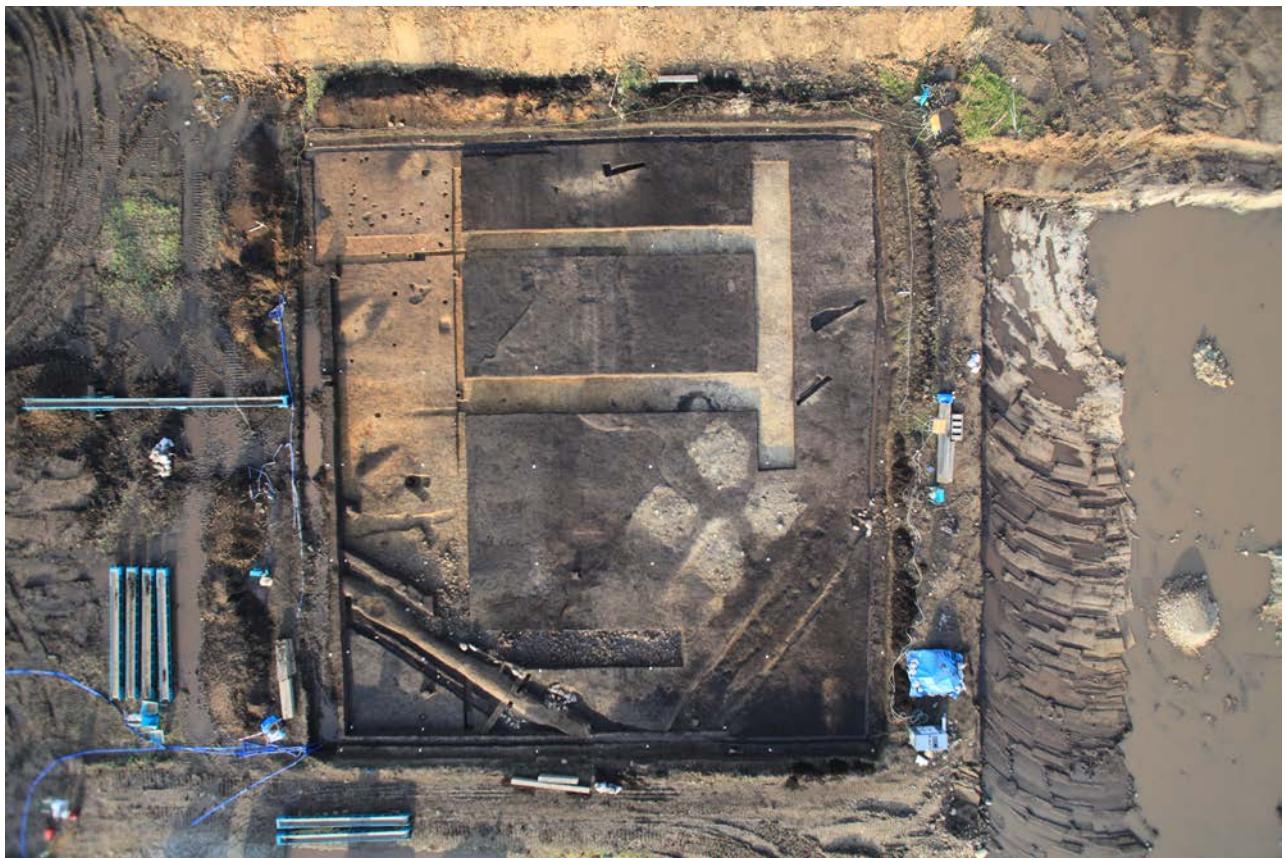
これらの窯跡に由来する遺物群は近世以降の耕作地造成による造成土中に含まれていた。調査では、その造成土に伴う水田の畦と水路、水田面が検出されている。また、水田より丘陵側では、倒木痕が多く検出されたので、果樹などの植樹帯であった可能性が考えられる。

また、同じく造成土中から弥生土器と打製石斧が出土した。今回の調査地では、明確な遺構は検出されなかったので、周辺丘陵地に弥生時代の集落などがあったことが推測される。

なお、本発掘調査においては、金沢学院大学文学部文学科歴史学専攻学生が考古学実習として一部参加しており、今後の遺物整理作業においても、同専攻考古学コースと連携して実施する予定である。



遠景（左奥は金沢学院大学、上が北方向）



A区 全景（左上が北方向）



A区 北隅 ピット等



A区 西隅 畦畔と水田面



A区 北隅 ピット 土器出土状況



A区 金沢学院大学 考古学実習状況



B区 須恵器出土状況



A区 金沢学院大学 考古学実習状況



B区 須恵器出土状況



B区 金沢学院大学 考古学実習状況

5. 千田西遺跡

(遺跡番号 県: 160700 市: 607)

所 在 地: 金沢市千田町地内

北緯 $36^{\circ} 36' 43''$

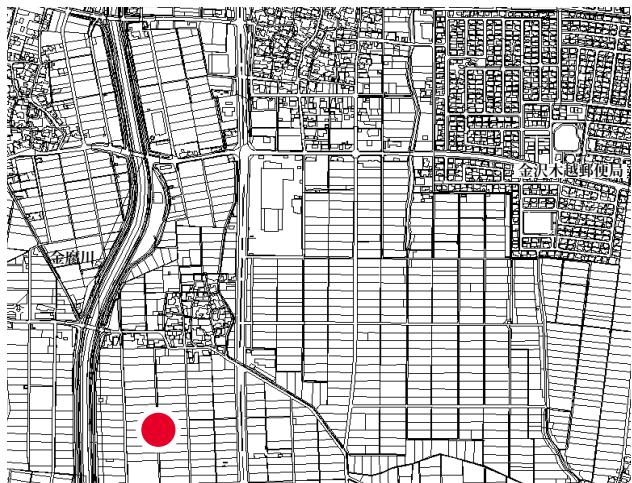
東経 $136^{\circ} 39' 27''$

調査面積: 640m²

種 別: 集落跡

主な時代: 弥生後期～古墳前期、平安、鎌倉、室町

担 当: 庄田 知充



■ 遺跡の概要

千田西遺跡は、市道小坂 25 号千田町線 10 号道路新築工事に伴い発掘調査を実施した遺跡である。金沢市北部の沖積平野に所在する千田西遺跡は、下流では天井川となる浅野川・金腐川流域で、干拓前の河北潟にも程近い位置に立地している。千田町は芹田郷遺称地とされており、推定大治年間(1126 年～31 年)の書状や、「千田郷」として暦応 4 年(1341 年)の書状にみえる。時衆過去帳にも「加州千田」が結縁者として見え、16 世紀代の文書では、千田姓の有力な地侍層が存在することが知られる。近隣に加賀一向一揆の中枢を担った木越光徳寺の跡地が所在し、隣接する木越には、16 世紀に入ってから、木越光琳寺、同光専寺が寺地を構え、後に木越三光と称された。

調査区は計画道路形状通り L 字形をしており、そのうち平成 30 年度は南端の東西道路区間、本年度は南北道路区間の南側延長 80m 区間で発掘調査を実施した。

今年度調査区のうち、北側では暗灰色を呈する弥生時代後期の堆積層が広く分布しており、堆積層に掘り込まれる同時期の土坑および古墳時代前期の小規模な土坑が確認された。調査区中程から南側は明灰白色を呈するシルト質の粘土で覆われており、その上面で確認された遺構は平安時代以降の溝や井戸、柱穴であった。この粘土層と北側の堆積層との境界部における土層の切り合い関係から、弥生時代後期以前の堆積層が弥生時代後期～平安時代の間に洪水等により深く浸食され、その後、無遺物の粘土層が堆積したものであることが確認された。



弥生時代後期～古墳時代前期の土坑群



平安時代～中世の溝と柱穴群



弥生時代後期の土坑



弥生の堆積層と洪水層との境界(白破線)



出土した弥生土器(小甕)



出土した弥生土器(高壺)



曲物製の井戸枠



平安時代の溝



建物柱穴内の基礎板(糸巻転用)



建物柱穴内の基礎板

2. 埋蔵文化財分布調査事業

(1) 令和元年度埋蔵文化財分布調査事業の概要

金沢市では、公共事業に関する土木工事や建設工事等および民間の開発行為や農地転用の際に、金沢市遺跡地図に基づき図面調査及び現地での踏査・試掘調査を実施し、開発事業着手前に埋蔵文化財の有無を確認している。

令和元年度は金沢市施工の公共事業 15 件、民間の開発事業・農地転用等 137 件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。

なお、平成 23 年度より、開発事業に伴う試掘確認調査については国庫及び県費補助事業にて実施しており、令和元年度の事業費は 5,009 千円であった。

このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、文化財保護法第 93 条及び第 94 条に基づく慎重工事及び工事立会での対応となったものは 63 件で、別表のとおりであった。

公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場所	事業名	担当課	回答日	面積	調査方法	結果	対応
1	菊川1丁目2-15	犀桜小学校建設事業	教育総務課	5月22日	1,200m ²	試掘	有	R元～2発掘調査 (菊川1丁目遺跡)
2	中屋町西826～837	いなほ工業団地拡張事業	企業立地課	6月10日	20,000m ²	試掘	有	R元～2発掘調査 (中屋B遺跡)
3	松村6丁目200	大徳小学校校舎増築	教育総務課	7月4日	250m ²	試掘	無	支障なし
4	小立野2丁目地内	辰巳用水修景整備事業	歴史都市推進課	7月18日	510m ²	試掘	無	支障なし (辰巳用水)
5	玉川町2-20	こども図書館、公文書館共通地下駐車場建設	図書館総務課	8月5日	280m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
6	松寺町西71-1外、田中町は68外	城北市民運動公園再整備事業	緑と花の課	8月20日	5,300m ²	試掘	有	慎重工事 (田中A遺跡)
7	野町3丁目20-34(月照寺)	防火水槽設置工事	歴史都市推進課	10月1日	108m ²	試掘	無	支障なし
8	元菊町21 (元菊町なかよし公園)	消防水利(防火水槽)整備事業	警防課	10月11日	28.26m ²	試掘	無	支障なし
9	藤江南1丁目79 (藤江南ふれあい公園)	消防水利(防火水槽)整備事業	警防課	10月11日	28.26m ²	試掘	無	支障なし (藤江A遺跡)
10	打木町東1176～1181、1500～1615	安原異業種交流工場用地造成	企業立地課	10月31日	183,000m ²	試掘	有	R2～発掘調査予定 (打木町東遺跡)
11	みどり2丁目1-1	緑住宅建設工事 第4期	市営住宅課	12月5日	3,200m ²	試掘	無	支障なし
12	野町3丁目11-1	価値創造拠点施設整備事業	産業政策課	12月19日	4,400m ²	試掘	無	支障なし
13	十間町9-3	近江町観光バス駐車場事務所等設置業務	観光政策課	12月24日	10m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
14	袋町144の一部	ふくろう通り電線共同溝整備事業 (地上器設置)	道路建設課	3月17日	35m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
15	松寺町西82外、田中町63～65、磯部町イ77外	城北市民運動公園再整備事業	緑と花の課	3月26日	13,000m ²	試掘	有	調整中 (沖町遺跡)

民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
1	古府町西155	野外広告板の設置	4月2日	1.22m ²	試掘	無	支障なし (古府クルビ遺跡)
2	黒田1丁目57、58	事務所建設	4月2日	706m ²	試掘	無	支障なし (黒田B遺跡)
3	御供田町ホ155 外5筆	バス駐車場造成	4月4日	2,706.45m ²	試掘	無	支障なし
4	粟崎町5丁目11-1	倉庫建設	4月8日	1,319.31m ²	試掘	無	支障なし
5	上荒屋4丁目22	住宅建設	4月8日	208.67m ²	試掘	無	支障なし (上荒屋住宅遺跡)
6	泉本町2丁目48、49	店舗建設	4月9日	1,292m ²	試掘	無	支障なし
7	長坂2丁目1304-2	住宅建設	4月9日	231m ²	試掘	無	支障なし (長坂A遺跡)
8	駅西本町1丁目519、520	住宅建設	4月15日	1,462.63m ²	試掘	無	支障なし
9	元菊町8-12	住宅建設	4月15日	116.62m ²	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
10	松村7丁目59-5	住宅建設	4月22日	128.35m ²	試掘	無	支障なし (松村A遺跡)
11	笠舞1丁目574-4 外2筆	店舗建設	4月24日	11,406.06m ²	試掘	無	支障なし
12	高尾台3丁目240	住宅建設	4月24日	213.39m ²	試掘	無	支障なし (高尾公園遺跡)
13	安江町378、383-1	共同住宅建設	4月26日	598.23m ²	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
14	涌波2丁目4-1	住宅建設	5月8日	210.37m ²	試掘	無	支障なし (大桑橋遺跡)
15	新保本2丁目39	住宅建設	5月14日	1,397.49m ²	試掘	有	慎重工事 (新保本町西遺跡)
16	笠舞3丁目406-1 外3筆	共同住宅建設	5月15日	1,218.13m ²	試掘	無	支障なし
17	専光寺町タ12-1 外6筆	工場建設	5月15日	3,313.21m ²	試掘	無	支障なし
18	高畠2丁目166	住宅建設	5月17日	223.3m ²	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
19	畠田西2丁目151	住宅建設	5月17日	208.56m ²	試掘	無	支障なし (畠田大徳川遺跡)
20	泉野町6丁目57	共同住宅建設	5月24日	255.83m ²	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
21	博労町71、72	住宅建設	5月24日	186.77m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
22	尾張町2丁目399、423	宅地造成	5月24日	119.66m ²	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
23	笠舞1丁目241	住宅建設	5月27日	159.7m ²	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
24	安江町458~460	簡易宿所建設	5月27日	241.3m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
25	森戸1丁目113-1の一部 外3筆	住宅建設	5月27日	269.62m ²	試掘	有	工事立会 (森戸住宅遺跡)
26	御供田町ハ14-1、14-2、 28-2	共同住宅建設	5月29日	1,723m ²	試掘	有	工事立会 (御供田町遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
27	四十万3丁目399	宅地造成	5月29日	280.19m ²	試掘	無	支障なし (三十苅遺跡)
28	元菊町328-15	住宅建設	6月3日	137.37m ²	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
29	南森本町ヌ97、98-1	分譲住宅建設	6月3日	1,413.93m ²	試掘	有	R元発掘調査 (南森本ホリハタ遺跡)
30	八日市5丁目496、497	宅地造成	6月4日	512m ²	試掘	有	工事立会 (八日市ヤスマル遺跡)
31	武蔵町423-2 外7筆	店舗建設	6月4日	1,104.92m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
32	兼六元町377-1	住宅建設	6月19日	117.97m ²	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
33	彦三町2丁目3-15	住宅建設	6月19日	201.22m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
34	安江町237-2	駐車場造成	6月20日	968.05m ²	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
35	金石本町口11-3	住宅建設	6月21日	393.49m ²	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
36	高畠2丁目158-1	住宅建設	6月21日	132.39m ²	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
37	二ツ屋町413の一部、 414の一部	住宅建設	6月25日	145.9m ²	試掘	無	支障なし (二口六丁B遺跡)
38	金石本町口48-1	公園再整備	6月25日	1,417m ²	試掘	有	工事立会 (寺中御台場遺跡)
39	南森本町ヲ90-1、92-1	分譲宅地造成	6月28日	1,278m ²	試掘	無	支障なし
40	才田町乙63-1	住宅建設	7月2日	250m ²	試掘	無	支障なし (才田御亭山古墳群)
41	西泉2丁目148-1 外7 筆	売買	7月2日	1,788.33m ²	試掘	無	支障なし
42	寺地1丁目410	住宅建設	7月5日	148.48m ²	試掘	無	支障なし (寺地B遺跡)
43	松村7丁目81-7	住宅建設	7月5日	84.35m ²	試掘	無	支障なし (松村A遺跡)
44	大手町338-1 外5筆	店舗建設	7月8日	1,342.8m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
45	伏見台3丁目131、154	住宅建設	7月12日	569m ²	試掘	有	協議要 (寺地向田遺跡)
46	兼六元町9-39	宅地造成・住宅建設	7月16日	427.6m ²	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
47	花里町75-2	住宅建設	7月17日	104.95m ²	試掘	無	支障なし (大桑橋遺跡)
48	兼六元町478、475-1	共同住宅建設	7月17日	1,573.87m ²	試掘	有	R2発掘調査予定 (金沢城下町遺跡)
49	石引4丁目18-1	拝殿建設	7月23日	67.68m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
50	高尾台2丁目328	住宅増築工事	7月25日	325.34m ²	試掘	無	支障なし (高尾公園遺跡)
51	寺地2丁目37、38	共同住宅建設	7月29日	598m ²	試掘	有	工事立会 (有松C遺跡)
52	南四十万1丁目 353~355	売買	8月2日	924m ²	試掘	無	支障なし (四十万ヒッカジ遺跡)
53	三十苅町丙151、154、 155	宅地造成	8月2日	678m ²	試掘	無	支障なし (三十苅遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
54	畠田西3丁目184-1、184-2	住宅建設	8月8日	181.33m ²	試掘	無	支障なし (畠田大徳川遺跡)
55	袋町108~118 外2筆および尾張町1丁目645-1の一部	店舗建設	8月8日	900m ²	試掘	有	R元発掘調査 (金沢城下町遺跡)
56	尾張町1丁目282、286~288	店舗建設	8月22日	446.03m ²	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
57	古府町南1082-1	住宅建設	8月26日	129.01m ²	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
58	玉川町5-15	事務所建替	8月31日	3,255.74m ²	試掘	無	支障なし
59	広岡3丁目301-2、302-2 外1筆	店舗建設	9月4日	13,910m ²	試掘	無	支障なし
60	香林坊2丁目244、245	住宅建設	9月4日	165.28m ²	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
61	長坂町232、235	駐車場造成	9月5日	1,575m ²	試掘	無	支障なし (長坂古墳群近接)
62	北町乙51	長屋住宅建設	9月5日	789m ²	試掘	有	工事立会 (北町遺跡)
63	武蔵町602	住宅建設	9月6日	155m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
64	松村6丁目95、96-1、96-2 外6筆	売買	9月7日	7,019m ²	試掘	無	支障なし (観音堂遺跡)
65	新保本2丁目516-1、516-2	長屋住宅建設	9月11日	442.m ²	試掘	無	支障なし (新保本町ツカダ遺跡)
66	大額1丁目35	住宅建設	9月13日	257.91m ²	試掘	無	支障なし (大額キヨウデン遺跡)
67	涌波2丁目73-2、73-3	住宅建設	9月19日	208.08m ²	試掘	無	支障なし (大桑橋遺跡)
68	尾張町1丁目318、323、324、344、345	学生賃貸マンション建設	9月25日	1,168.25m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
69	八日市出町574~576	駐車場造成	9月27日	953.38m ²	試掘	無	支障なし (八日市サカイマツ遺跡)
70	笠舞1丁目329	住宅建設	9月30日	241.32m ²	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
71	高尾3丁目87-2	住宅建設	9月30日	272.4m ²	試掘	無	支障なし (高尾新町遺跡)
72	示野町イ11	宅地造成	10月1日	600.25m ²	試掘	無	支障なし
73	示野町イ22	宅地造成	10月1日	1,043.9m ²	試掘	無	支障なし
74	長坂3丁目1312、1314-1 外1筆	住宅建設	10月2日	978.8m ²	試掘	無	支障なし (長坂古墳群)
75	四十万3丁目360	住宅建設	10月3日	211.27m ²	試掘	無	支障なし (三十苅遺跡)
76	割出町556 外19筆および直江町イ3-2 外3筆	乗合いバスのバス基地建設	10月9日	23,905.1m ²	試掘	無	支障なし
77	百坂町口58-1	宅地造成	10月11日	755m ²	試掘	無	支障なし (百坂C遺跡)
78	矢木2丁目64-5	住宅建設	10月30日	72.27m ²	試掘	無	支障なし (矢木ヒガシウラ遺跡)
79	矢木2丁目68-2	住宅建設	10月30日	1,049.79m ²	試掘	有	協議要 (矢木ヒガシウラ遺跡)
80	三十苅町乙70~72、84、85	宅地造成	10月30日	1,155m ²	試掘	無	支障なし

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
81	元菊町210-2、210-3	住宅建設	10月31日	242.2m ²	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
82	松村7丁目36-16	住宅建設	11月5日	142.66m ²	試掘	無	支障なし (松村A遺跡)
83	畠田西3丁目207	宅地造成	11月5日	727.89m ²	試掘	無	支障なし (畠田遺跡)
84	小坂町北190	住宅建設	11月18日	3,195m ²	試掘	無	支障なし
85	利屋町り21-1、22-1	有料老人ホーム建設	11月18日	1,182.72m ²	試掘	無	支障なし
86	黒田2丁目373-4	住宅建設	11月21日	138.86m ²	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
87	金石東1丁目166-4	住宅建設	11月22日	132.25m ²	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
88	富桜2丁目5-17	住宅建設	11月26日	2,074.53m ²	試掘	無	支障なし
89	久安6丁目181-1、182、183-1	事務所建設	11月27日	1,531.61m ²	試掘	無	支障なし
90	小将町66~68	住宅建設	12月10日	255.65m ²	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
91	高畠2丁目59	宅地造成	12月12日	273m ²	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
92	錦町六字50-2、85 外1筆	宅地造成	12月12日	2,507.99m ²	試掘	無	支障なし
93	法光寺町92、93 他4筆および金沢市所管の法定外公共物の一部	分譲住宅建設	12月18日	2,460.1m ²	試掘	無	支障なし (法光寺遺跡)
94	福畠町フ24-1	住宅建設	12月19日	1,118m ²	試掘	無	支障なし
95	橋場町71-1 外9筆	不動産調査	12月20日	2,251.69m ²	試掘	有	R2発掘調査予定 (金沢城下町遺跡)
96	寺中町へ49	宅地造成	12月20日	646.89m ²	試掘	無	支障なし (寺中B遺跡)
97	彦三町2丁目99、100 他2筆	ホテル建設	12月23日	674.36m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
98	駅西本町3丁目1408~1411 外9筆	店舗建設	12月26日	3,554.19m ²	試掘	無	支障なし
99	黒田2丁目373	倉庫建設	12月26日	160.68m ²	試掘	無	支障なし (黒田町遺跡)
100	長町3丁目85、88~90 外4筆	店舗建設	1月9日	1,641.68m ²	試掘	無	支障なし
101	瓢箪町22-13、14	住宅建設	1月9日	181.51m ²	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
102	進和町10-1、10-4	分譲住宅建設	1月16日	1,850.49m ²	試掘	無	支障なし
103	石引4丁目328-2	住宅建設	1月16日	199.7m ²	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
104	元菊町85-3	住宅建設	1月21日	109.71m ²	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
105	専光寺町レ3-28、レ3-32	工場増設	1月28日	6,790.59m ²	試掘	無	支障なし
106	示野町り83-1	倉庫建設	1月28日	2,990m ²	試掘	無	支障なし
107	観法寺町い39-1、39-2 他2筆	宅地造成	1月29日	1,431.03m ²	試掘	有	協議要 (観法寺遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
108	押野2丁目162-3	住宅建設	1月30日	155.61m ²	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
109	桜田町1丁目44、165	住宅建設	1月30日	188.15m ²	試掘	無	支障なし (桜田・示野中遺跡)
110	長坂2丁目42 他	宅地分譲	1月30日	989m ²	試掘	無	支障なし (長坂A遺跡)
111	八日市2丁目601	共同住宅建設	2月4日	1,171.94m ²	試掘	無	支障なし
112	田上本町ヲ4-1、4-2 外7筆	分譲住宅建設	2月5日	2,284.61m ²	試掘	無	支障なし
113	横山町17-2	住宅建設	2月6日	62.49m ²	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
114	小坂町北83、85、86	宅地造成	2月12日	2,733m ²	試掘	無	支障なし
115	小立野2丁目458	共同住宅建設	2月13日	1,414.08m ²	試掘	無	支障なし
116	近岡町131-1	宅地造成	2月18日	689m ²	試掘	有	協議要 (大友E遺跡)
117	石引4丁目89	住宅建設	2月18日	136.92m ²	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
118	北安江3丁目1-44	宅地造成	2月19日	3,802.3m ²	試掘	無	支障なし (北安江遺跡)
119	みどり1丁目76	住宅建設	2月20日	203.91m ²	試掘	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)
120	石引4丁目4-6	事務所増築	2月20日	286.42m ²	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
121	本江町362、363	住宅建設	2月25日	209.83m ²	試掘	無	支障なし (犀川鉄橋遺跡)
122	藤江南1丁目127-1	宅地造成	2月25日	1,000m ²	試掘	無	支障なし
123	南森本町口76-1、 77-1、78-1	こども園建設	2月27日	2,116.94m ²	試掘	有	工事立会 (大場遺跡)
124	彦三町2丁目238	住宅建設	3月2日	149.09m ²	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡)
125	額谷町ワ37-4	宅地造成	3月6日	639.89m ²	試掘	無	支障なし (額谷遺跡)
126	高畠1丁目296	宅地造成	3月6日	332m ²	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
127	高畠2丁目118	宅地造成	3月6日	273m ²	試掘	無	支障なし (高畠遺跡)
128	南町4-47	建物新築	3月9日	661m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
129	南町4-47	建物新築	3月9日	1,399m ²	試掘	有	協議要 (金沢城下町遺跡)
130	御供田町ニ2-1、3-1	共同住宅建設	3月13日	1,208m ²	試掘	無	支障なし
131	元菊町328-14	住宅建設	3月13日	133.94m ²	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
132	兼六元町9-55	土地調査	3月17日	1,404m ²	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
133	大手町241、242-2	コインパーキング 建設	3月18日	562.91m ²	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡)
134	泉野6丁目175-1	住宅建設	3月19日	78.74m ²	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)

ID	場所	行為の内容	回答日	面積	調査方法	結果	対応
135	寺中町イ36-3	住宅建設	3月19日	260.45m ²	試掘	無	支障なし
136	観法寺町い29~31、32-1	宅地造成	3月24日	2,756m ²	試掘	有	R2発掘調査 (観法寺遺跡)
137	竹又町フ41 外3筆	住宅建設	3月27日	1,805m ²	試掘	無	支障なし

(別表) 土木工事のための発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
1	93条(届)	若松町レ212番	休憩広場の造成および墓地区画の整理	4月26日	4月26日	420m ²	若松本泉寺跡	慎重工事
2	93条(届)	笠舞1丁目253番11	住宅建築	5月9日	5月9日	149.54m ²	笠舞A遺跡	工事立会
3	93条(届)	大友3丁目10番、11番、25番、26番	共同住宅の建設	5月13日	5月13日	948.76m ²	大友D遺跡	工事立会
4	93条(届)	田上の里2丁目242番	住宅新築	5月20日	5月20日	275.85m ²	田上北遺跡	慎重工事
5	93条(届)	新保本2丁目39番	個人住宅の建設	5月20日	5月20日	1,397.49m ²	新保本町西遺跡	慎重工事
6	93条(届)	博労町71番、72番、十間町1番2	住宅建設	5月28日	5月28日	210.44m ²	金沢城下町遺跡(博労町地点)	工事立会
7	93条(届)	安江町458、459、460番	ホテル建設	5月28日	5月28日	499.19m ²	金沢城下町遺跡(安江町15番地点)	工事立会
8	93条(届)	御供田町ハ14~16番、29番の一部	共同住宅建設	6月3日	6月3日	1,729.86m ²	御供田町遺跡	工事立会
9	93条(届)	森戸1丁目133番1の一部、133番3の一部、133番4、133番5の一部	長屋の新築	6月6日	6月6日	264.22m ²	森戸住宅遺跡	工事立会
10	93条(届)	尾張町2丁目403番	駐車場造成	6月17日	6月17日	203m ²	金沢城下町遺跡(尾張町2丁目6番地点)	慎重工事
11	94条(通知)	本多町3丁目51番1号	本多公園園路舗装改修	6月18日	6月18日	320m ²	金沢城下町遺跡	慎重工事
12	93条(届)	彦三町2丁目91番	個人住宅の建築	6月21日	6月21日	201.22m ²	金沢城下町遺跡(彦三町2丁目3番地点)	工事立会
13	93条(届)	兼六元町377番1	木造住宅の建て替え(個人住宅の建築)	6月24日	6月24日	117.97m ²	金沢城下町遺跡(兼六元町9番地点)	慎重工事
14	93条(届)	大友1丁目363番	個人住宅の新築	6月28日	6月28日	196.81m ²	大友G遺跡	工事立会
15	94条(通知)	玉川町11番2号、11番19号	金沢市立中央小学校、金沢市立玉川こども図書館及び金沢市公文書館(仮称)建設工事	7月22日	7月22日	7,690.55m ²	金沢城下町遺跡(長氏屋敷跡地区)	発掘調査
16	93条(届)	香林坊2丁目224番	個人住宅の建設	7月25日	7月25日	93.62m ²	金沢城下町遺跡(香林坊2丁目10番地点)	工事立会
17	93条(届)	福増町北1092番	新築工事(個人住宅)	8月8日	8月8日	230.71m ²	安原工業団地A遺跡	工事立会
18	93条(届)	南森本町ヌ97番、98番1	宅地造成	8月8日	8月8日	1,425.04m ²	南森本ホリハタ遺跡	発掘調査
19	93条(届)	横川2丁目70番1	一戸建ての住宅(専用住宅)	8月13日	8月13日	138.32m ²	高橋セボネ遺跡	工事立会
20	93条(届)	寺地2丁目37番、38番	共同住宅の建設	8月18日	8月18日	598m ²	有松C遺跡	工事立会
21	93条(届)	兼六元町132番	簡易宿所建設	8月18日	8月18日	117.86m ²	金沢城下町遺跡(兼六元町2番地点)	工事立会

ID	届・通知の別	場所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
22	93条(届)	兼六元町147番	既存車庫土間コンクリートの上に用途変更および一部増築	8月20日	8月20日	13.16m ²	金沢城下町遺跡(兼六元町1番地点)	慎重工事
23	93条(届)	直江西1丁目12番2	住宅新築工事	8月20日	8月20日	158.6m ²	直江北遺跡	工事立会
24	93条(届)	金石本町口48番1	安宅記念公園再整備	8月23日	8月23日	1,417m ²	寺中御台場遺跡	工事立会
25	93条(届)	直江西1丁目12番1	住宅新築工事	8月20日	8月20日	150.04m ²	直江北遺跡	工事立会
26	93条(届)	北町乙51番地	宅地造成、共同住宅建設	9月6日	9月6日	789m ²	北町遺跡	工事立会
27	93条(届)	香林坊2丁目244番、245番	個人住宅の建設	9月9日	9月9日	164.96m ²	金沢城下町遺跡(香林坊2丁目10番地点)	慎重工事
28	93条(届)	笠舞1丁目253番10	住宅建築	9月13日	9月13日	149.54m ²	笠舞A遺跡	慎重工事
29	93条(届)	尾山町11番1号	バリアフリー通路設置工事	9月17日	9月17日	263m ²	金沢城跡	工事立会
30	93条(届)	八日市5丁目495番3	一戸建ての住宅の建築	9月24日	9月24日	150m ²	八日市ヤスマル遺跡	慎重工事
31	93条(届)	武蔵町602番、604番、595番の一部	住宅新築	9月30日	9月30日	137.92m ²	金沢城下町遺跡(武蔵町8番地点)	工事立会
32	93条(届)	辰巳町イ18番2外116筆及び法定外公共物の道路・水路の一部	学校グラウンド建設	9月30日	9月30日	44,146m ²	末窯跡群(辰巳支群)	発掘調査・工事立会
33	93条(届)	袋町106番の一部、107番の一部、108~118番、尾張町2丁目654番1の一部	ホテル新築	10月9日	10月9日	935.8m ²	金沢城下町遺跡(袋町2番地点)	発掘調査・工事立会
34	93条(届)	八日市5丁目495番4	木造二階建て住宅の新築	10月16日	10月16日	121.42m ²	八日市ヤスマル遺跡	慎重工事
35	93条(届)	武蔵町433番1、432番3、444番2、446番、447番、457番、1005番1、1005番3	物品販売店舗の建設	10月23日	10月23日	1,090.52m ²	金沢城下町遺跡(武蔵町16番地点)	工事立会
36	93条(届)	尾張町1丁目12番12号	店舗兼住宅新築	10月24日	10月24日	205.76m ²	金沢城下町遺跡(尾張町1丁目7番地点)	工事立会
37	93条(届)	大手町338番1外5筆	店舗建設	11月12日	11月12日	1,220.9m ²	金沢城下町遺跡(大手町9番地点)	工事立会
38	94条(通知)	安江町地内	用水修景整備	11月15日	11月15日	360m ²	金沢城下町遺跡	工事立会
39	94条(通知)	彦三町1丁目294番	園路舗装改修	11月18日	11月18日	3,171.6m ²	金沢城下町遺跡(彦三町1丁目9番地点)	慎重工事
40	93条(届)	八日市5丁目495番6	戸建住宅の新築	11月20日	11月20日	142.44m ²	八日市ヤスマル遺跡	工事立会
41	93条(届)	八日市5丁目495番5	分譲住宅建設	12月2日	12月2日	106.24m ²	八日市ヤスマル遺跡	工事立会
42	93条(届)	尾張町1丁目240番外6筆	ホテル及び郵便局の建設	12月5日	12月5日	4,639.75m ²	金沢城下町遺跡(尾張町1丁目1番地点)	発掘調査
43	93条(届)	尾張町1丁目282番外3筆	仮設郵便局の建設	12月9日	12月9日	488.04m ²	金沢城下町遺跡(尾張町1丁目2番地点)	慎重工事
44	93条(届)	福増町北1105番1、1105番2	個人住宅の建設	12月10日	12月10日	238.39m ²	安原工業団地A遺跡	工事立会
45	93条(届)	木曳野1丁目144番	専用住宅の建設	12月11日	12月11日	228.95m ²	寺中B遺跡	慎重工事
46	93条(届)	小将町66~68番	個人住宅の建設	12月23日	12月23日	247.95m ²	金沢城下町遺跡(小将町3番地点)	慎重工事
47	93条(届)	安江町378番	簡易宿所の建設	1月6日	1月6日	416.13m ²	金沢城下町遺跡(武蔵町8番地点)	発掘調査・工事立会
48	93条(届)	上荒屋7丁目77番、78番	共同住宅の建設	1月10日	1月10日	693.85m ²	上荒屋遺跡	発掘調査

ID	届・通知の別	場所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
49	93条(届)	彦三町2丁目243番	外構工作物の建造	1月10日	1月10日	3,336.48m ²	金沢城下町遺跡(彦三町2丁目9番地点)	慎重工事
50	93条(届)	木曳野1丁目18番、19番	共同住宅の建設	1月15日	1月15日	439.65m ²	畠田・寺中遺跡	工事立会
51	93条(届)	瓢箪町813~815番	個人住宅新築	1月23日	1月23日	185.2m ²	金沢城下町遺跡(瓢箪町22番地点)	工事立会
52	93条(届)	石引4丁目328番2	個人住宅の建築	2月7日	2月7日	199.91m ²	金沢城下町遺跡(石引4丁目10番地点)	慎重工事
53	94条(通知)	菊川1丁目27番、40番、109番	金沢市立犀桜小学校校舎新築工事	2月17日	2月17日	3,171.6m ²	菊川1丁目遺跡(2番地点)	発掘調査
54	94条(通知)	中屋町西826番1 外19筆等	第2次いなほ工業団地造成工事	2月20日	2月20日	8,911.89m ²	中屋B遺跡	発掘調査
55	93条(届)	尾張町1丁目318番、324番、344番の一部、345番の一部	共同住宅の建設	2月25日	2月25日	389.12m ²	金沢城下町遺跡(尾張町1丁目10番地点)	工事立会
56	93条(届)	高尾台1丁目361番1	個人住宅の建設	3月4日	3月4日	229.35m ²	高尾新マトバ遺跡	工事立会
57	93条(届)	直江南2丁目75番	個人住宅の建設	3月6日	3月6日	231.37m ²	直江北遺跡	工事立会
58	93条(届)	彦三町2丁目238番	個人住宅の建設	3月10日	3月10日	149.09m ²	金沢城下町遺跡(彦三町2丁目8番地点)	工事立会
59	93条(届)	戸板1丁目141番1	住宅建築	3月13日	3月13日	154.96m ²	薬師堂遺跡	工事立会
60	93条(届)	戸板1丁目141番2	住宅建築	3月13日	3月13日	154.96m ²	薬師堂遺跡	工事立会
61	93条(届)	大手町241番、242番	駐車場機器設置	3月26日	3月26日	562.91m ²	金沢城下町遺跡	慎重工事
62	93条(届)	尾山町321番1	石碑等移設	3月26日	3月26日	18m ²	金沢城跡	工事立会
63	93条(届)	南森本町口76番1、77番1、78番1	宅地造成	3月27日	3月27日	2,116.94m ²	大場遺跡	工事立会

(2) いなほ工業団地拡張事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査報告

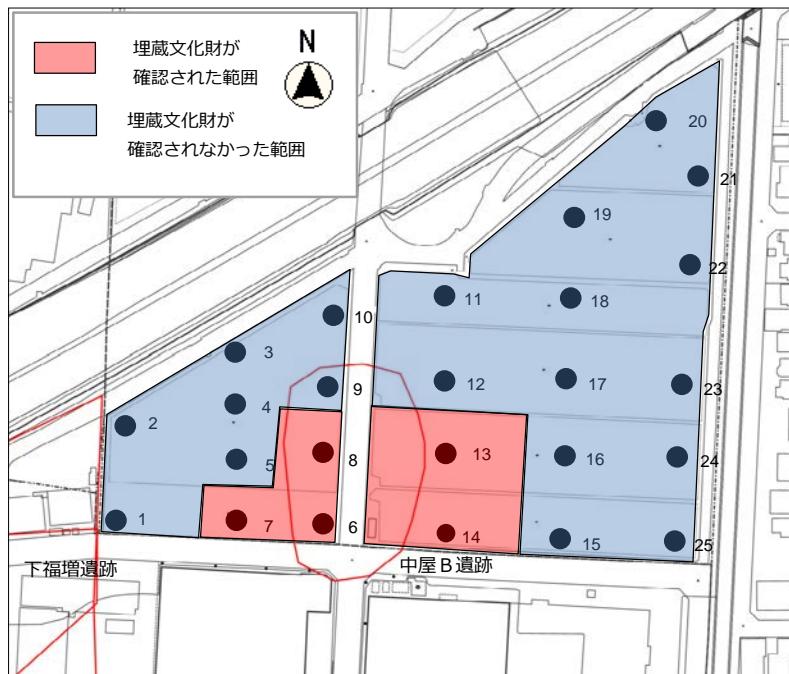
文化財保護課では毎年、公共工事や事業の進捗と史跡や埋蔵文化財の保護を調整するため、庁内各課に地下の掘削を伴う工事計画の有無を照会している。

これにより、企業立地課からいなほ工業団地および安原異業種工業団地を拡張する事業計画がもたらされた。いなほ工業団地は平成17年度に新設されたものであるが、その造成工事にともなって、中屋サワ遺跡、福増カワラケダ遺跡、下福増遺跡、横江莊遺跡を発掘調査した経緯がある。なかでも中屋サワ遺跡は幅10mに及ぶ自然河道から漆塗り製品を含む縄文時代晚期の良好な資料が発見されたことから、平成26年にその出土資料が重要文化財に指定されている。

今回の拡張予定域には、平成12年の県営圃場整備事業にともなって発見された中屋B遺跡が存在している。しかし圃場整備によって地形が多少改変されていることが予想されるため、再度試掘調査を行い、遺跡の範囲および地表からの深さを確定し、発掘調査の積算に必要なデータを取ることとした。対象地は中屋町西地内の2.3haで、現状は水田である。試掘調査は令和元年6月6～10日に、掘削機を用いて行った。

以下に試掘調査の概要を掲載する。表の「番号」は試掘調査地点を示し、図中の番号と一致する。表の「地山深さ」は地表から遺構面または地山までの深さをcm単位で表したものである。図の赤い枠線は周知の埋蔵文化財包蔵地を表し、今回の試掘で遺跡が確認された範囲は赤塗りで示す。なお、遺跡の有無の判断は、試掘調査地点においての遺構・遺物の有無及び地山の高さに加え、隣接地調査結果により行っている。

試掘の結果、事業用地の南半の約3,600m²で、周知の埋蔵文化財包蔵地である中屋B遺跡の存在が確認され、令和2年3月から発掘調査を行うこととなった。



いなほ工業団地拡張事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査 位置図

試掘地点の状況

番号	地山深さ	遺構	遺物	備考
1	45	小穴	×	
2	70	溝	×	
3	70	小穴、溝	×	
4	65	×	×	
5	45	×	×	
6	45	小溝	土師器	
7	40	溝	×	
8	50	柱穴	土師器	
9	70	×	×	
10	75	×	×	
11	70	×	×	
12	85	×	×	
13	110	溝	木器	溝の底
14	125	溝	土師器	
15	160	×	×	
16	170	小穴	×	
17	190	溝	×	
18	135	小穴	×	
19	130	×	×	
20	150	溝	×	
21	100	×	土師器	
22	95	×	×	
23	240	溝	×	
24	220	溝	×	溝の底
25	240	溝	×	溝の底

(3) 安原異業種交流工業用地造成事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査報告

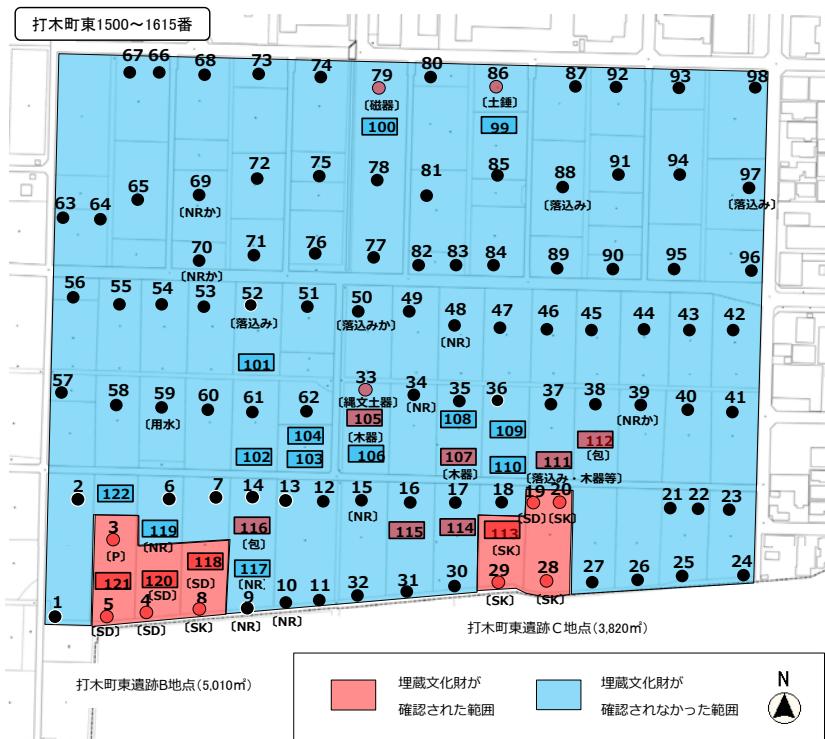
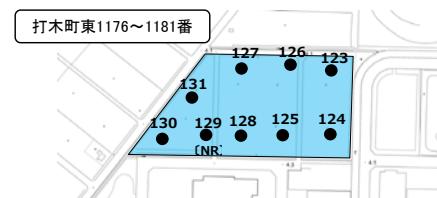
企業立地課による表題の事業計画に伴い、試掘調査を行った。対象地は打木町東地内の 18.3ha で、既存の工業団地の北西角 1.0ha と南西角 17.3ha に分かれる。現状は水田、蓮田および畑で、試掘調査は令和元年 10 月 16 ~ 31 日に行った。

以下に、試掘調査の概要を掲載する。図、表の指示は前節と同様であるが、表中の「地山深さ」に () つきの数字があるものは、掘削時に地山が確認できなかった箇所での最深の深さを表している。また、試掘坑は通常約 1 × 2 m の坪掘りを行っているが、番号 99 ~ 122 は約 1 × 5 m のトレーナー状に掘削したところである。この事業用地も約 20 年前に石川県が圃場整備を行っており、おそらくそのときに地山が削平されているようである。

試掘の結果、事業用地南端の 2 か所、8,830m²で遺跡が確認された。平成 7 年（1995 年）に発掘調査された打木町東遺跡の 450 ~ 500 m 真南に位置することから、同遺跡の別地点（B・C 地点）と考えられる。これは令和 2 年度から発掘調査を行うこととなった。



安原異業種交流工業用地造成事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査 概要図



安原異業種交流工業用地造成事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査 位置図

試掘地点の状況

番号	地山深さ	遺構	遺物	備考
1	80	×	×	
2	35	×	×	
3	35	小穴	×	B地点
4	40	溝	×	B地点
5	30	溝	×	B地点
6	45	×	×	
7	35	土坑	×	
8	35	土坑	×	B地点
9	(215)	川	×	
10	135	川	×	
11	15	×	×	
12	55	×	×	
13	35	×	×	
14	25	×	×	
15	160	川	木器	
16	30	×	×	
17	30	×	×	
18	30	×	×	
19	70	溝	土師器	C地点
20	40	土坑	×	C地点
21	25	×	×	
22	45	×	×	
23	45	×	×	
24	75	×	×	
25	60	×	×	
26	35	×	×	
27	20	×	×	
28	35	土坑	×	C地点
29	30	土坑	×	C地点
30	15	×	×	
31	25	×	×	
32	100	×	土師器	

番号	地山深さ	遺構	遺物	備考
33	45	×	×	
34	130	川	×	
35	35	×	×	
36	40	×	×	
37	35	×	×	
38	25	×	×	
39	60	川	×	
40	35	×	×	
41	30	×	×	
42	35	×	×	
43	45	×	×	
44	35	×	×	
45	35	×	×	
46	50	×	×	
47	65	×	×	
48	105	川	×	
49	70	土坑	×	
50	65	落込み	×	
51	80	×	×	
52	45	落込み	×	
53	50	×	×	
54	50	×	×	
55	40	×	×	
56	45	×	×	
57	25	×	×	
58	30	×	×	
59	100	×	×	
60	30	×	×	
61	30	×	×	
62	25	×	×	
63	45	×	×	
64	(95)	用水	×	

番号	地山深さ	遺構	遺物	備考
65	50	×	×	
66	55	×	×	
67	55	×	×	
68	45	×	×	
69	85	川	×	
70	80	川	×	
71	30	×	×	
72	45	×	×	
73	50	×	×	
74	65	×	×	
75	40	×	×	
76	45	×	×	
77	35	×	×	
78	40	×	×	
79	60	×	近世磁器	
80	35	×	×	
81	60	×	×	
82	45	×	×	
83	35	×	×	
84	20	×	×	
85	60	×	土錐	
86	50	×	用水	
87	65	落込み	×	
88	45	落込み	×	
89	35	×	×	
90	35	×	×	
91	35	×	×	
92	55	×	×	
93	45	×	×	
94	30	×	×	
95	170	川	×	
96	30	×	×	
97	60	落込み	×	
98	40	×	×	
99	40	×	×	
100	65	×	×	
101	35	×	×	
102	35	×	×	
103	30	×	×	
104	20	×	×	
105	50	×	木器	
106	30	×	×	
107	30	溝	木器	
108	35	×	×	
109	30	×	×	削平
110	25	×	×	削平
111	45	落込み	土師器、木器、磁器	
112	35	×	×	包含層
113	30	土坑	×	C地点
114	35	土坑、溝	×	
115	25	柱穴	柱根	
116	25	×	×	包含層
117	35	×	×	
118	35	溝	×	B地点
119	40	川	×	
120	20	溝	×	B地点
121	-	川	×	B地点
122	30	柱穴	×	
123	130	×	×	
124	120	×	×	
125	105	×	×	
126	135	×	×	
127	140	×	×	
128	110	×	×	
129	160	×	×	
130	140	×	×	
131	150	×	×	

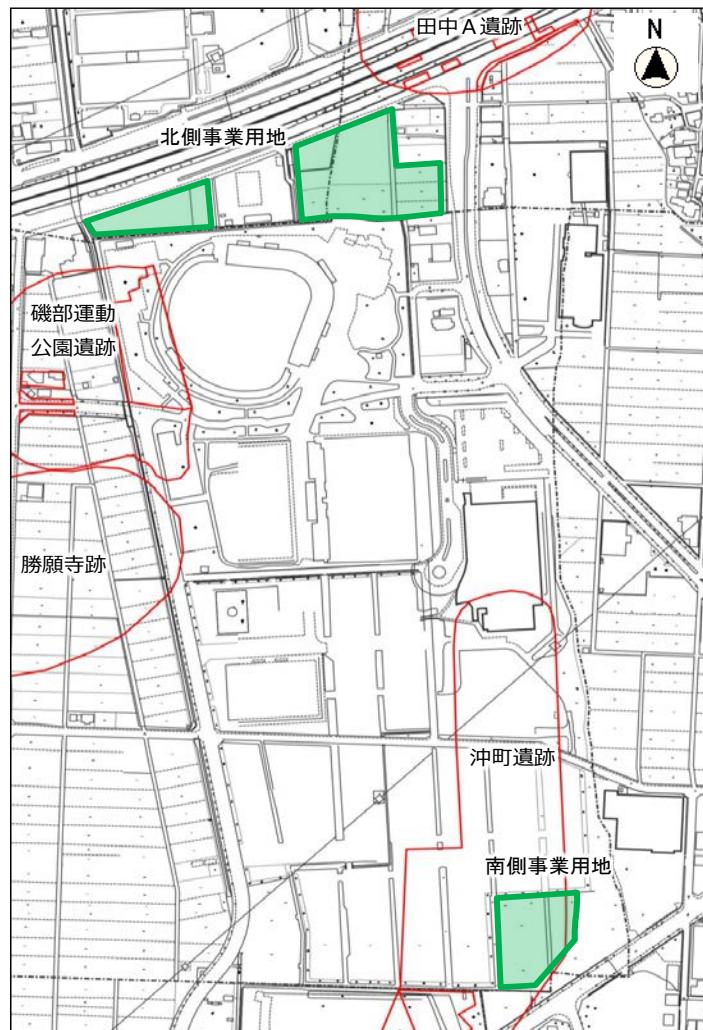
(4) 金沢城北市民運動公園再整備事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査報告

公園を管理する緑と花の課による表題の事業計画に伴い、試掘調査を行った。対象地は既存の運動公園の縁辺部で、8月19・20日に田中町・松寺町西地内に存在する北側事業用地を、3月25・26日に松寺町西・磯部町イ地内に存在する南側事業用地を調査した。現状は水田およびアスファルトや砂利敷きの暫定駐車場である。

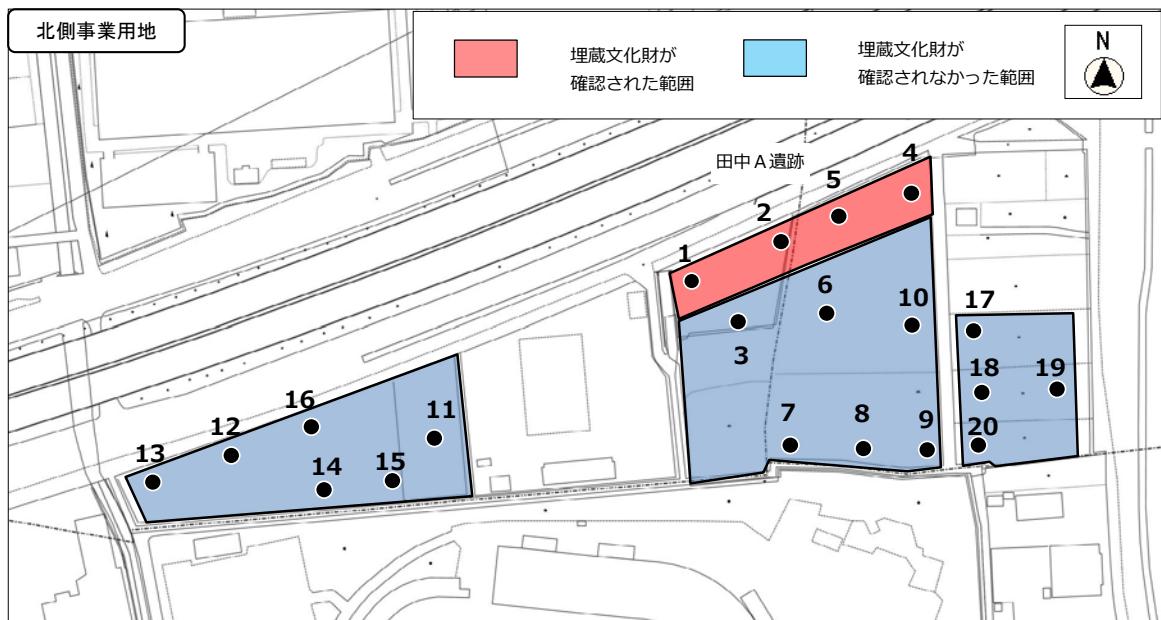
この城北市民運動公園を初めに造成する際に磯部運動公園遺跡が発見され、昭和60・61年（1985・86年）に発掘調査が行われている。その後も南へと公園が拡張されるたびに試掘調査と発掘調査を行ってきた。公園拡張に伴う発掘調査には、沖町遺跡における平成2・3年（1990・91年）と平成25年（2013年）の調査がある。磯部運動公園遺跡では弥生時代中期の、沖町遺跡では古墳時代前期の集落が発見されている。

以下に、試掘調査の概要を掲載する。図、表の指示は（2）（3）節と同様である。

試掘の結果、北側事業用地のうち2,400m²で田中A遺跡の続きと思われる遺跡が確認された。南側事業用地うち4,600m²で沖町遺跡の続きが確認された。まだ事業の計画中であるため、遺跡の取り扱いについては今後の検討課題であるが、遺跡の保存と開発工事を両立するべく、緑と花の課と調整していく。



金沢城北市民運動公園再整備事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査
概要図



金沢城北市民運動公園再整備事業に伴う埋蔵文化財試掘確認調査 位置図

試掘地点の状況

番号	地山深さ	遺構	遺物	備考
1	190	溝	土器	170cm盛り土 田中A遺跡
2	150	溝	土器	130cm盛り土 田中A遺跡
3	180	×	×	130cm盛り土
4	220	土坑	土器	130cm盛り土 田中A遺跡
5	200	溝	土器、木器	130cm盛り土 田中A遺跡
6	160	×	×	170cm盛り土
7	190	×	×	115cm盛り土
8	(240)	川	土器	140cm盛り土
9	(240)	×	陶磁器	170cm盛り土
10	190	×	×	160cm盛り土
11	190	×	×	
12	140	×	×	
13	160	×	×	
14	(40)	×	×	地盤改良されているため掘削不可能
15	120	×	×	

番号	地山深さ	遺構	遺物	備考
16	170	×	×	
17	40	×	×	
18	50	×	×	
19	45	×	×	
20	80	×	×	
21	45	×	×	
22	50	×	×	
23	40	溝	×	沖町遺跡
24	25	土坑、柱穴	土器	沖町遺跡
25	45	柱穴	×	沖町遺跡
26	40	×	×	
27	40	柱穴	土器	沖町遺跡
28	45	柱穴	土器	沖町遺跡
29	30	溝	土器	沖町遺跡
30	35	×	×	
31	65	×	×	
32	60	柱穴	土器	沖町遺跡
33	40	溝	土器、杭	沖町遺跡
34	40	×	×	

3. 教育・普及・啓発活動事業

(1) 金沢縄文ワールド

■概要

金沢市いなほ1丁目に所在する中屋サワ遺跡は、縄文時代晩期を主体とした多量かつ多様な土器や漆塗製品を含む木製品、石製品などが出土した遺跡である。特に漆塗製品は遺存状態が良好なものが多く、編みカゴを漆で塗り固めた籃胎漆器、漆塗りの装飾弓、腕輪、豊饒など、多彩な遺物が出土しており、当時の漆工技術の実態がよく示されている。縄文土器には北陸地方の縄文時代晩期の形式をよく示すだけでなく他地域の影響が見られるものも含まれている。これらは北陸地方における縄文時代晩期の文化と生活様式を良く示しているとして、平成26年8月21日に重要文化財に指定された。

チカモリ遺跡は金沢市新保本5丁目に所在し、昭和50年代の発掘調査で環状木柱列と呼ばれる半截したクリ材を円形に立て並べた建造物が確認されたほか、計349点にも及ぶ木柱根が出土している。遺跡は中心部がチカモリ遺跡公園として整備され、昭和62年2月23日に国史跡に指定されたほか、出土した木柱根のうち57点が石川県指定文化財に指定されている。

金沢市では、これら縄文時代晩期の貴重な資料を適切に保管するとともに広く一般に展示・公開する施設として、金沢市埋蔵文化財センター内に「金沢縄文ワールド」を設置した。館内には常設展示コーナーと企画展示コーナーを設け、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」を主体に様々な視点から金沢市内の縄文時代を紹介する展示を行っているほか、2階には勾玉作りや縄文かご作りなどの各種古代体験に挑戦できる縄文体験コーナーを併設している。また、重要文化財指定物件を保管する特別収蔵庫を併設し、貴重な考古資料の保存継承を図っている。

所在地 石川県金沢市上安原南60番地 金沢市埋蔵文化財センター内

開館時間 9時30分から17時00分まで（入館は16時30分まで）

休館日 月曜日、年末年始（12/29～1/3）

※月曜日が祝日の場合は開館し、その次の平日に休館

入館料 無料

入館者数 平成29年度 3,209人（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

平成30年度 3,803人（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

令和元年度 3,810人（平成31年4月1日～令和2年3月31日）



■ 常設展示

金沢縄文ワールドにおいて重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」及び国史跡「チカモリ遺跡」出土品を常設展示するにあたり、貴重な考古資料を適切に保存管理しつつ、その魅力を広く公開するという基本理念のもと、以下のコンセプトによる展示を行っている。

1. 中屋サワ遺跡やチカモリ遺跡の出土品の特色及び独自性を演出する展示
2. 若年層から高齢者まで、幅広いニーズに対応できる演出
3. 「触れて、楽しみ、学ぶ」ことができる体験型展示手法の採用
4. 各種分析や実験考古学など最新の研究成果を反映した展示

これにメンテナンス性や環境への配慮を加えた結果、常設展示では「巨木の文化」「漆と装飾」の2大テーマに基づいた展示・解説を企画したほか、タッチパネルを操作して金沢市内の縄文遺跡や発掘調査の流れなどが検索できる「縄文の考古学」コーナー、ゲームを通して縄文時代の石斧や弓の使い方を体験できる「実験考古学」コーナーを併設した。

・巨木の文化

展示室中央にシンボル展示としてチカモリ遺跡の環状木柱列を室内復元し、大型スクリーンの映像とともに往時の環境を再現している。また、中屋サワ遺跡から出土した豊富な木製品を展示し、縄文時代晩期の優れた木工技術を紹介している。



シンボル展示



常設展示「巨木の文化」

・漆と装飾

中屋サワ遺跡から出土した漆塗木製品や縄文土器を展示し、その高い技術と独自のデザイン性を通して、縄文時代晩期の金沢に住んだ人々が持っていたワザと美意識を紹介している。特に漆塗木製品は籃胎漆器や木胎漆器、弓、櫛、腕輪など多岐に渡る第一級の資料を展示しており、当該時期の金沢における優れた漆芸文化の一端を垣間見ることができる。



「縄文の考古楽」コーナー



常設展示「漆と装飾」

■ 企画展示

企画展示コーナーでは、常設展示とは別に、毎回異なるテーマに基づいた展示を行い、金沢を中心とした北陸地方の遺跡と出土遺物を紹介している。令和元年度は計4回の企画展を開催した。

・企画展「古代のくらしと今のかくらし」

会 期 令和元年6月18日～令和元年9月16日
概 要 令和元年度も夏休み自由研究応援企画として、子どもを対象とした企画展を開催した。昔の道具は現代ではどのように形を変えているのかを比較展示することで、子どもたちが理解しやすいようにした。

また、学習シートを作成し、企画展示を見学することでシートが完成するようにし、クイズ感覚で楽しく遺跡の学習が進められるようにした。子ども達が楽しく歴史に興味をもつ機会を提供する企画展とした。

展示資料 衣：アンギンと現代の織機の
おもちゃ、貫頭衣と現代の服等
食：土器と鍋、炉とガスコンロ、
石包丁と鎌、磨石とミキサー等
住・生活：竪穴住居の模型と現代の家の写真パネル、打製石斧とスコップ等
音 楽：弥生時代の琴と現代の琴、土笛と縦笛等
狩猟・漁労：ヤスと現代の釣り針、石錐と現代の編みのおもりの写真パネル等



企画展チラシ

・企画展「新潟と金沢の縄文土器」

会 期 令和元年9月18日～令和元年12月15日

概 要 縄文時代中期は今からおよそ5,500年前から4,500年前で、縄文時代の中でも縄文土器の造形が発達し一番輝いた時代と言える。この時期の新潟県と金沢の縄文土器を比較し、同じ日本海側での共通点や相違点、文化の交流などに焦点をあてた企画展を開催した。

対象となる新潟県の遺跡は六反田南遺跡で、新潟県西部にある糸魚川市にあり、日本海から約200m内陸の標高3.5～4.5mに位置し、今から約5,000年前の縄文時代中期前葉から中葉の集落がみつかっている。展示資料は新潟県指定となっている。

また、同時代の金沢の遺跡としては笠舞遺跡、東市瀬遺跡、北塚遺跡などで、これらの遺跡から出土した遺物を比較展示した。

展示資料 六反田南遺跡の土器：深鉢、台付鉢、鉢、浅鉢、有孔鍔付土器

笠舞遺跡の土器：有孔鍔付土器、深鉢

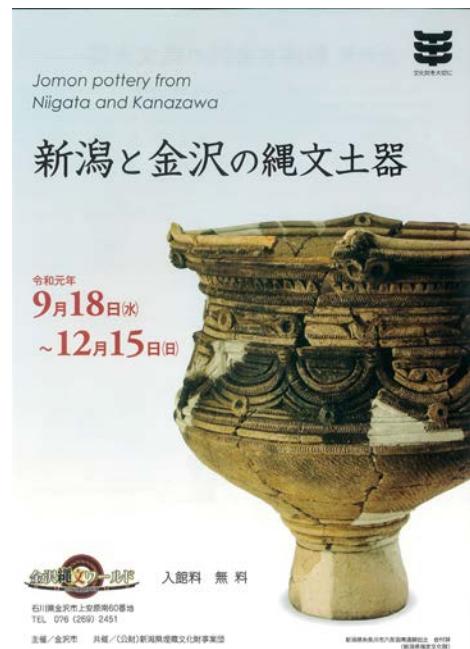
古府遺跡の土器：深鉢

東市瀬遺跡の土器：深鉢

六反田南遺跡の石器：磨製石斧の製作過程がわかる石器、

ヒスイの剥片や原石、石棒

北塚遺跡の石器：大珠、垂飾、指輪



企画展チラシ

・企画展「西念・南新保遺跡展」

会 期 令和元年12月17日～令和2年3月15日

概 要 西念・南新保遺跡は弥生時代中期の終わり頃から古墳時代前期にかけての集落遺跡である。日本の弥生時代というと、水稻耕作中心の社会が形成され、縄文時代と比べると集落の規模も大きくなる。すると食料や物資を巡る争いが起きるようになり、集落の周囲に外敵の浸入を防ぐための大きな堀（環濠）を巡らせた集落（環濠集落）が出現していく。西念・南新保遺跡から窺える、弥生時代のムラの様子を遺構や出土した遺物からわかりやすく紹介した。

展示資料 弥生土器、木製品、石製品、金属製品



企画展チラシ

・企画展「石川中央都市圏考古資料展－弥生時代編－」

会 期 令和2年3月17日～令和2年6月14日

概 要 金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡

町、内灘町の4市2町で構成される石川中央都市圏には、日本海に面した海岸線や靈峰白山を始めとする山麓、手取川や河北潟に代表される河川湖沼などの豊かな自然を背景として、縄文時代から近世まで、数多くの遺跡が立地している。本企画展は石川中央都市圏が連携して開催する3回目考古資料展で、各市町を代表する弥生時代の遺跡から出土した優品を厳選して公開した。

展示資料 金沢市 大友西遺跡：弥生土器

千田遺跡：弥生土器

(墨書)

白山市 野本遺跡：弥生土器、

砥石、有孔円板状石製品、打製石斧

かほく市 中沼C遺跡：弥生土器、ガラス製小玉

鉢伏茶臼山遺跡：弥生土器

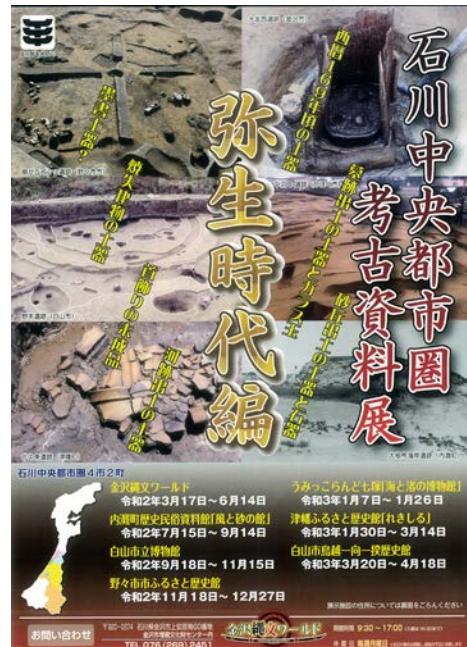
野々市市 扇丘ゴショ遺跡：弥生土器

高橋セボネ遺跡：弥生土器、玉製品

津幡町 北中条遺跡：弥生土器

谷内石山遺跡：弥生土器

内灘町 大根布砂丘遺跡：弥生土器、有孔円板状石製品、打製石包丁、銅鏡



企画展チラシ

■ 縄文体験コーナー

金沢縄文ワールドの開設に併せ、金沢市埋蔵文化財センターの2階に「縄文体験コーナー」を併設し、様々な縄文体験を無料で実施している。同コーナーの体験メニューはいつでも体験できる通年メニューと、毎月内容が変わる期間限定メニューの2種類がある。いずれも縄文時代の文化や生業を追体験できる内容となっており、当館の体験型展示コンセプトの一翼を担っている。

通年メニュー

土器パズル 勾玉作り 古代衣装試着 拓本作り
ペーパークラフト ぬりえ

期間限定メニュー

縄文かご・コースター作り 土偶作り 土笛作り くみひも作り
うでわ作り はたおり

※期間限定メニューの開催時期はホームページ等でご確認いただきたい。

※ペーパークラフトは金沢縄文ワールドのホームページでダウンロードできる。

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11104/bunkazaimain/maizou/15.html>

利用実績 平成29年度 2,140人（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

平成30年度 2,322人（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

令和元年度 2,393人（平成31年4月1日～令和2年3月31日）



縄文体験コーナー



土器パズル



くみひも作り



はたおり



勾玉作り

■ 金沢縄文ワールド見学バス助成制度

金沢縄文ワールドでは、重要文化財「中屋サワ遺跡出土品」等の展示を通して本市の縄文遺跡の魅力を紹介している。また、併設する縄文体験コーナーでは、勾玉作りなど様々な縄文文化を無料で体験することができる。当館では、金沢縄文ワールドを初めとした本市及び近郊の縄文遺跡の見学・体験を希望する小学校や関連団体に対し、往復のバス使用料を助成する制度を実施しており、歴史学習や校外活動に活用されている。見学コースは下記の4コースを設定しており、申込団体が希望するコースを選択できる。見学バス助成は予算上 10 団体程度を募集しているが、助成に依らない団体見学は隨時受け入れている。

① 展示見学コース ー金沢縄文ワールドの展示と館内の見学ー

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、館内設備見学）

所要時間 約 40 分

② 縄文文化体験コース ー金沢縄文ワールド展示見学と縄文体験ー

行 程 金沢縄文ワールド（展示見学、縄文体験（勾玉作り等））

所要時間 約 90 分

③ 縄文文化探訪コース ー金沢縄文ワールド展示見学と近郊の縄文遺跡めぐりー

行 程 金沢縄文ワールド、御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約 120 分

④ 古代の里探訪コース ー金沢縄文ワールド展示見学とふるさとの国史跡めぐりー

行 程 金沢縄文ワールド、上荒屋史跡公園、東大寺領横江荘遺跡荘家跡、

御経塚遺跡公園、チカモリ遺跡公園

所要時間 約 120 分

利用実績 平成 29 年度 9 団体 423 人

平成 30 年度 6 団体 312 人

令和元年度 7 団体 408 人



金沢縄文ワールドバス助成制度



縄文体験（勾玉作り）

(2) 歴史ふれあい講座

当センターでは平成 12 年度より、職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について小学校 6 年生に講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。

講座では、貫頭衣の試着、石を使ってのくるみ割り、縄文から古墳時代の遺物見学、最後に火起こしまたは勾玉作りを体験する。さらに現在の生活と文化財との接点を意識してもらえるよう、各小学校の校区内に所在する文化財や埋蔵文化財包蔵地を記した「文化財マップ」を配布し、校区内の遺跡から発掘された出土品を展示している。この内容で、1 講座 100 分を所要する。

平成 22 年度からは、金沢市文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私協働で事業を行っている。今年度は 4 月 11 日の粟崎小学校から始まり、6 月 6 日の緑小学校に終わる 19 校で開催した。うち 13 校が火起こしを、6 校が勾玉作りを行った。参加児童数は 1,456 名で、平成 12 年度からの累計は 34,591 名となった。

《過去 5 年間の事業実績》

実施年度	学校数	講座数	児童数
平成 27 年度	31	63	2,122
平成 28 年度	29	60	2,144
平成 29 年度	24	51	1,604
平成 30 年度	27	58	1,928
令和元年度	19	39	1,456



講座の様子



くるみ割り体験の様子



火起こし体験の様子



(3) 金沢こども歴史探検隊

当センターでは平成 15 年度より、将来を担う子どもたちを対象に、市内の史跡・建造物など実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢こども歴史探検隊」を実施している。この活動は、ふるさとの歴史をより深く理解してもらうことで、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護っていく「金沢型の文化財保存活動」の実現をめざす環境を醸成することを目的としている。

今回は、第 19 回目として「金沢こども歴史探検隊 in 湯涌江戸村」を開催した。

会場となった金沢湯涌江戸村は、国・県・市指定文化財である江戸時代の各種建造物を移築復元し、展示している野外博物館で、開催の前月に 9 棟目の移築復元となる旧平尾家住宅（武士系住宅）が公開されたところである。

参加者は 6 組の親子、合計 16 名で、まず金沢市役所前に集合し、専用バスで金沢湯涌江戸村へ向かった。その道中でみられる文化財—平成 29 年 11 月に国指定をうけた旧石川県第二中学校本館（現金沢くらしの博物館）、同じく平成 22 年に国指定を受けた辰巳用水、平成 25 年にその追加指定を受けた土清水塩硝蔵跡、縄文時代の集落である東市瀬遺跡などーを職員が紹介した。金沢湯涌江戸村の園内では、金沢文化財ボランティアうめばちの会会員が引率して、各建造物の解説およびこども達へのクイズ出題を行った。

第 19 回 「金沢こども探検隊 in 湯涌江戸村」

開催日：令和元年 10 月 13 日（日）

内 容：金沢湯涌江戸村での歴史的建造物見学とクイズラリー

参加者：親子 6 組、16 名



探検の様子（旧高田家住宅〔農家〕）



クイズ出題の様子（旧平尾家住宅〔武士系住宅〕）

(4) 市民ふるさと歴史研究会「千田北遺跡の木製笠塔婆」

平成 30 年度に発掘調査を実施し、金箔押しの木製笠塔婆等が出土したことで注目を浴びた千田北遺跡の発掘報告及び保存処理を終えた木製笠塔婆の公開を行った。

発掘調査の報告は、画像を用いて、遺跡の概要や検出遺構（墓・堀など）、出土遺物（僧形神像、笠塔婆、木簡など）等について解説を行った。

今回新たな調査成果として、木製笠

《過去 5 年間の事業実績》

実施年度	タイトル	講師
平成 27 年度	「縄文時代の木の文化」	山田 昌久 氏
	「加越国境城跡群の歴史的意義」	千田 嘉博 氏
平成 28 年度	「縄文晩期に北陸地方が繁栄したのは何故か」	泉 拓良 氏
平成 29 年度	「動物の骨は語る」	覚張 隆史 氏
平成 30 年度	「低湿地遺跡の世界」	荒川 隆史 氏
令和元年度	「千田北遺跡の木製笠塔婆」	向井 裕知

塔婆の放射性炭素年代を報告した。調査段階では、共伴する堀出土の土器の年代から 13 世紀の所産と位置づけてきたが、放射性炭素年代の測定結果では、11 世紀前半～12 世紀中葉の年代が得られた。共伴する土器などの年代からは、11 世紀ということは考えにくいため、12 世紀前半から中頃に建立され、13 世紀代に廃絶した可能性が高い。つまり、鎌倉時代のものとしてきたが、平安時代の製作の可能性が高まった。

なお、測定は種子部に施された金箔の接着剤として用いたと考えられる漆膜を用いて実施した。漆を採取した年代が測定されるため、採取する箇所によって（外皮に近いか、芯に近いか）年代が異なる木部を測定するよりも製作年代そのものを示すといえる。

また、顔料の分析結果も報告し、黒色物質は漆であることが確認され、額と額縁には白色顔料が塗布されていることがわかった。

今回の公開に合わせて、笠塔婆ペーパークラフトを配布した。

講 師：向井裕知（埋蔵文化財センター主査）

実施日：令和元年 11 月 2 日（土）午前の部：10:00～11:30、午後の部：13:30～15:00

会 場：金沢市埋蔵文化財センター

参加者：40 名



発掘報告



木製笠塔婆の見学

（5）講演会『本願寺と加賀一向一揆～加賀一向一揆関連遺跡と古道調査成果報告会～』

平成25～30年度にかけて発掘調査を実施してきた「加賀一向一揆関連遺跡と古道詳細調査」の調査成果について、平成30年度末に刊行した調査報告書によって、公開したところである。

この調査成果について、一般の方々にもわかりやすく伝えることを目的として本講演会を開催した。演題は以下のとおりであるが、講演①では、本願寺史料研究所で研究員を務める岡村氏に、本願寺がどのような経緯を辿って北陸との関わりを持つようになったかといったことを、蓮如以前と蓮如以後に分けて、真宗史の立場からわかりやすく解説いただいた。また砂子坂との関わりがわかる史料も紹介された。

講演②では、調査指導委員でもあり、また現在調査を進めている金沢市内文献史料調査指導委員会の委員長を務める木越氏より、真宗史と考古学成果を融合させて、砂子坂の歴史的意義について、解説いただいた。文献史学と考古学の調査研究から得られた成果を融合させることで、それぞれ単体では導き出せなかった成果を上げることができる点を強調された。

報告は、6年間に及ぶ調査成果について、砂子坂道場跡の調査成果を主体的に報告した。

演題：講演①「本願寺の歴史」岡村喜史（本願寺史料研究所）

講演②「加賀一向一揆の歴史と遺産」木越祐馨（加賀一向一揆関連遺跡と古道調査指導委員会）

報告 「砂子坂道場跡と本泉寺の調査成果」向井裕知（金沢市埋蔵文化財センター）

実施日：令和元年11月4日（月・休）13:30～16:00

会場：石川県文教会館 4階 大会議室

参加者：70名



岡村喜史氏



木越祐馨氏



会場



パネルディスカッション

(6) 出張！金沢縄文ワールド

金沢市と（公財）金沢まちづくり財団では、毎年10月第3日曜日の「金沢市緑と花の日」に合わせ、樹木や花の育て方・楽しみ方について関心を深め、緑あふれるまちづくりを促進することを目的とした「緑花フェスティバル」を開催している。同フェスティバルでは、緑化・美化功労者表彰や写真コンテスト、各種パフォーマンス、緑の相談窓口開設、作品展示などの各種イベントを実施しており、来場者に緑と花に親しみ理解を深める機会を提供している。

金沢市埋蔵文化財センターでは、平成29年度より同フェスティバルの開催に際し、「出張！金沢縄文ワールド」と題した縄文体験コーナーを出展し、金沢縄文ワールドと金沢市の縄文文化について周知を図っている。

令和元年度の同フェスティバルは10月20日（日）に城北市民運動公園内のあめるんパーク前広場にて開催された。当センターからは「縄文あじろ編みミニしきもの作り」の体験コーナーを出展し、75名の参加者があった。フェスティバル終了時刻前までに用意した体験材料が全てなくなってしまうほどの盛況であり、当初の目的を完遂できたものと考えている。

なお、実施にあたっては金沢文化財ボランティア「うめばちの会」の協力を得ている。

≪過去3年間の事業実績≫

実施年度	出展日	内容	人数	場所
平成29年度	10月14日（土）	まが玉作り	70名	金沢市役所前広場
平成30年度	10月20日（土）	あじろ編みミニしきもの作り	60名	金沢市役所前広場
	10月21日（日）	まが玉作り	45名	
令和元年度	10月20日（日）	あじろ編みミニしきもの作り	75名	あめるんパーク前広場



出展ブース



実施状況

(7) 史跡活用事業

一般市民に郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深めてもらうことを目的にイベントを開催、文化財愛護の精神を培う機会を創出している。小学校高学年から中学生およびその保護者が多く参加し、親子がふれあう機会を提供する場にもなっている。開催にあたっては石川県史跡整備市町協議会から助成金をうけている。

■ チカモリ縄文まつり

国指定史跡チカモリ遺跡の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実施日：令和元年6月2日（日）

主な内容：火起こし体験 勾玉作り 土器作り

縄文食試食体験 クルミ割り体験

貫頭衣試着 化石発掘等

参加者：約650名

委託先：金沢市西南部公民館振興協力会



チカモリ縄文まつりの様子

■ 史跡フェスタみわ

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園を題材に、奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。

実施日：令和元年7月13日（土）

主な内容：古代衣裳試着体験 古代食試食体験

火起こし体験 勾玉作り 土器作り

まゆ糸取り体験等

参加者：約110名

委託先：金沢市三和公民館振興協力会



史跡フェスタみわの様子

■ チカモリ学習会

チカモリ縄文まつりの一環として、地域の方々にチカモリ遺跡および縄文時代の生活について理解を深めもらうため、学習会を開催した。

実施日：令和元年7月27日（土）

主な内容：講演「縄文時代の生活の様子について」、

縄文かご作り体験

講師：須貝主事（金沢市埋蔵文化財センター）

参加者：約40名



学習会の様子

4. 附編

西念・南新保遺跡出土木製高杯の樹種同定

小林克也（パレオ・ラボ）

■ はじめに

石川県金沢市の西念・南新保遺跡から出土した高杯の再保存処理に伴い、樹種同定を行なった。

■ 試料と方法

試料は、西念・南新保遺跡の高杯 1 点である。再保存処理に伴って接合しない破片を用いて、切片採取を行なった。

樹種同定は、材の横断面（木口）、接線断面（板目）、放射断面（柾目）について、カミソリで薄い切片を切り出し、ガムクロラールで封入して永久プレパラートを作製した。その後乾燥させ、光学顕微鏡にて検鏡および写真撮影を行なった。

■ 結果

同定の結果、高杯は広葉樹のクワ属であった。クワ属は重厚な樹種で、加工はやや困難であるが、保存性が高い樹種である（伊東ほか, 2011）。同定結果を表 1 に示す。

表1 樹種同定結果

試料No.	器種	樹種	備考
1	高杯	クワ属	赤彩あり

以下に、同定された材の特徴を記載し、図版に光学顕微鏡写真を示す。

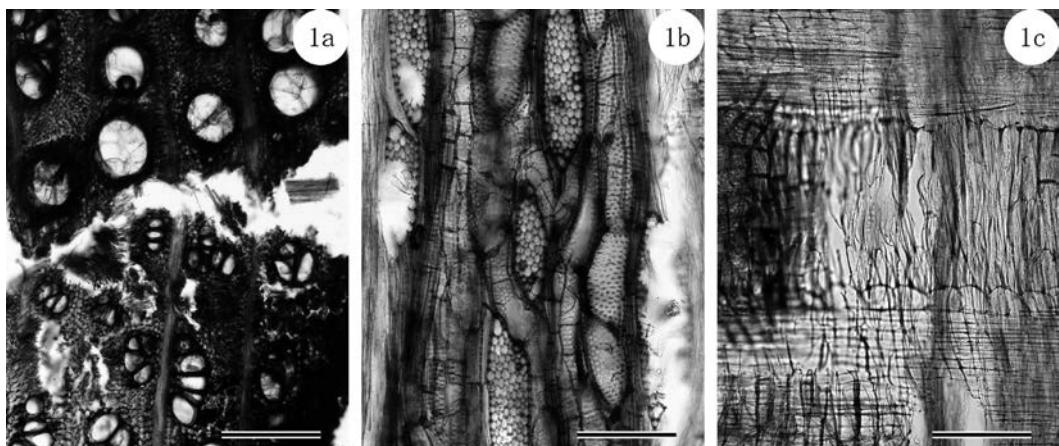
（1）クワ属 *Morus* クワ科 図版 1 1a-1c(No.1)

年輪のはじめに大型の道管が並び、晩材部では徐々に径を減じた道管が多数複合し、斜め方向に断続的に複合する半環孔材である。軸方向柔組織は周囲状となる。道管は単穿孔を有し、小道管の内壁にはらせん肥厚がみられる。放射組織は上下端 1 ~ 3 列が方形となる異性で、幅 1 ~ 6 列となる。

クワ属にはヤマグワやマグワなどがあり、温帯から亜熱帯に分布し、日本全国の山中にみられる落葉高木の広葉樹である。材はやや重硬で、保存性が高いが、切削加工はやや困難である。

引用文献

伊東隆夫・佐野雄三・安部 久・内海泰弘・山口和穂 (2011) 日本有用樹木誌. 238p, 海青社.



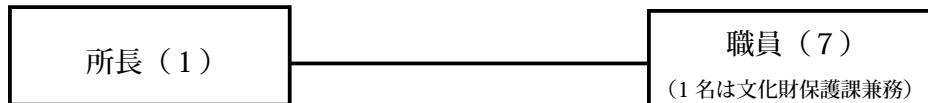
図版 1 西念・南新保遺跡出土の高杯の光学顕微鏡写真

1a-1c. クワ属 (No.1)

a: 横断面 (スケール =500 μm)、b: 接線断面 (スケール =200 μm)、c: 放射断面 (スケール =200 μm)

5. 組織

令和2年3月31日現在



令和元年度 金沢市埋蔵文化財調査年報

令和2年4月30日発行

発行 金沢市

編集 金沢市埋蔵文化財センター

〒 920-0374

金沢市上安原南 60 番地

TEL : 076-269-2451

FAX : 076-269-2452

Mail : maibun@city.kanazawa.lg.jp

